



写真のことば

9月9日、水城公園で第18回浮き城のまち行田こどもまつりが開催され、多くの親子連れでにぎわいました。

恒例のミニSLの運行では、順番待ちの長い列ができるほどの大盛況ぶりで、煙を上げて走る様子に子供たちは大喜び。また、バルーンアートや木工クラフトなど11のブースで、ものづくり体験をするなど、子供たちの楽しそうな笑顔と笑い声がいっぱいのイベントとなりました。

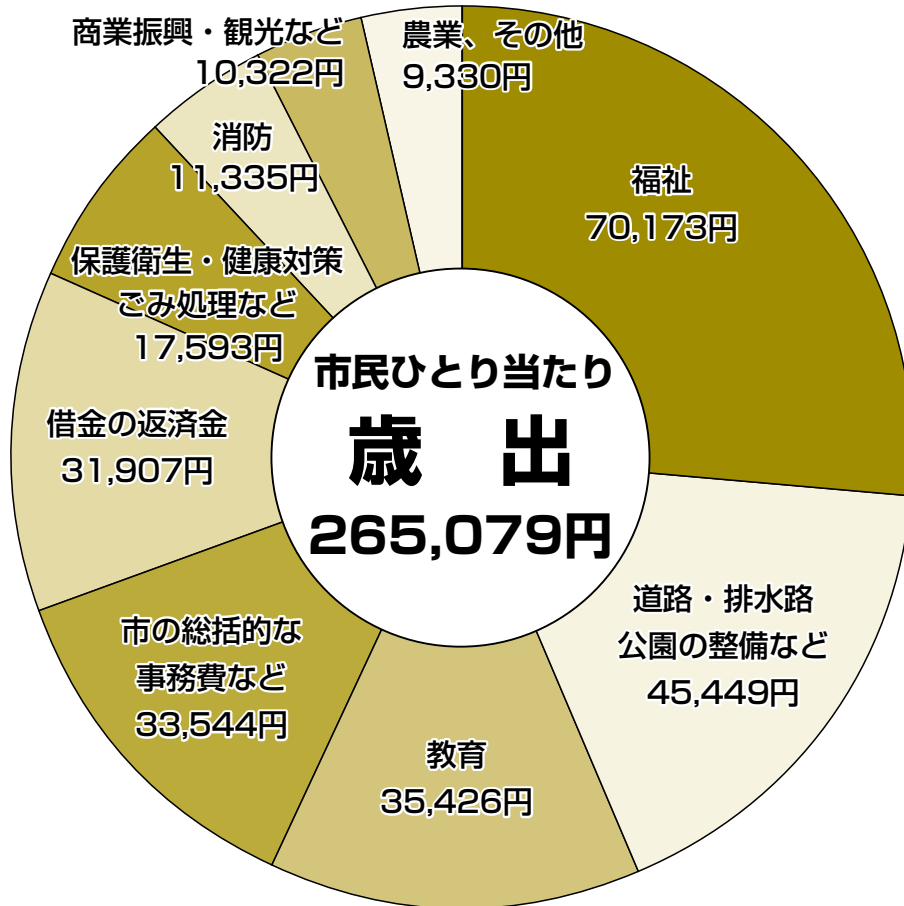
今月の内容

平成18年度決算概要

- 行田市の家計簿をお知らせします……………2~5
- 差し押さえた財産を公売します……………6
- 保健案内……………18~19
- 写真館……………22~23
- 広場……………24~25
- 催し・募集……………26~29
- 歴史系譜・キラリ元気……………30

行田市の家計簿をお知らせします

平成18年度の決算がまとまりました。
 昨年度は、旧南河原村との合併後、初の通年予算に基づく決算となりました。
 市民の皆さんからいただきました大切な税金や、国や県からの補助金、交付税などがどのくらい入り、どのように使われたのかを見てみましょう。



歳出決算の主な内容

福祉

- ～障害者福祉、高齢者福祉、子育て支援などに使ったお金です～
- 総合福祉会館「やすらぎの里」運営事業
 - 心身障害者（児）等福祉援護事業（福祉手当、施設訓練、重度心身障害者医療費支給など）
 - 高齢者福祉事業（敬老事業、老人クラブ、ひとり暮らし高齢者対策など）
 - 児童福祉事業（保育、児童手当、学童保育、子ども医療費支給など）
 - 生活保護

道路・排水路・公園

- ～道路整備、排水路整備、公園整備などに使ったお金です～
- 市内各所の道路整備
 - 南北道路、前谷下忍線、荒木幹線、南河原幹線

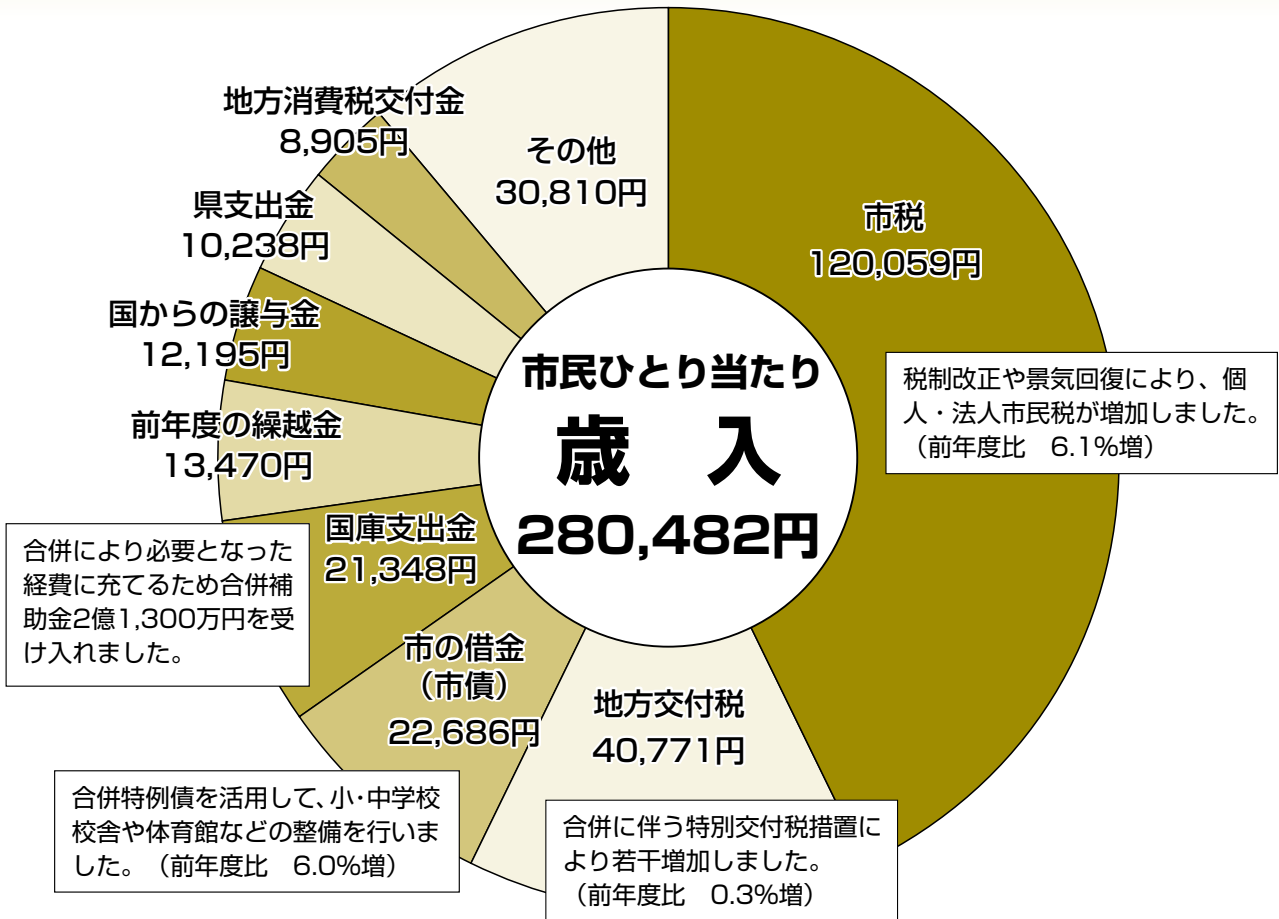
- 市内各所の排水路整備
- 工業団地通線（橋りょう下部工）
- 文化ゾーン整備
- 総合公園野球場電光掲示式スコアボード整備

教育

- ～小・中学校の教育、生涯教育、文化財保護、公民館、図書館などに使ったお金です～
- 少人数学級編制事業（市費負担教職員の任用）
 - のびのび英語教育特区事業（小学校での英語活動授業の実施）
 - 北小学校屋内運動場増築・改修、長野中学校校舎改修、南河原小・中学校給食用エレベーター整備

詳しい内容は、市のホームページをご覧ください

平成18年度 決算概要



平成18年度一般会計決算の総括

- 歳入総額：247億1,357万円 (前年度比 △15.0%)
- 歳出総額：233億5,637万円 (前年度比 △16.3%)
- 歳入歳出差引額：13億5,720万円
- 実質収支額：12億1,821万円 (前年度比6.9%増 ※黒字幅が増加しました)
(翌年度への繰越事業に充当する額を控除した実質的な繰越額)

平成18年度は、旧南河原村との合併後、初の通年予算による決算となりました。

前年度対比では、平成17年度に長野工業団地の大規模な売却があった影響から大きく減少しています。

これからも、財政の健全化に向けて、効率的な財政運営に努めます。



災害対応の特殊水槽付消防ポンプ自動車を西分署に配備しました

行田市の財政診断

平成18年度決算の2つの指標から、行田市の財政診断をしてみましょう

経常収支比率

89.7%

この指標は、「毎年決まって入ってくる収入」が「毎年決まって出ていく支出」に、どのくらい充てられたのかをみています。

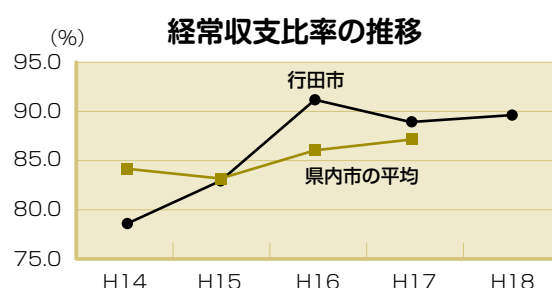
毎年入ってくる収入とは、市税や普通交付税などの用途の定められていない収入（これを経常一般財源収入といいます）ですが、これらの収入が、人件費や扶助費といった福祉にかかる経費、借金の返済金などの毎年決まって支払わなければならない経費にどのくらい使われたのかを指標にしたものです。

身近な例として、家計簿で例えると、毎月の給料から光熱費や食費などの決まった支払いがどのくらいあったのかということと同じです。毎月の給料が足りなければ貯金を崩さなければなりません、余裕があれば、欲しかったものを買うことができます。

かつては80%を超えると要注意といわれていましたが、交付税の減少などにより、どこの自治体でも決まって入ってくる収入が少なくなっており、現在ではほとんどの自治体がこの水準を超えています。このた

め、現在では90%を超えないような財政運営が求められています。

本市の数値は、要注意の水準となっています。少人数学級編制事業や子ども医療費支給事業など、本市独自の政策を充実させながら、数値を改善していくことは容易なことではありませんが、より一層の行財政改革に取り組み、健全化を目指していきます。



実質公債費比率

12.4%

この指標は、1年度間における市の借金全体の返済金が、市税や交付税などの標準的な収入に対してどのくらいの割合を占めているのかをみています。18%を越えると危険水域といわれています。

本市は、借金の残高は県内でも多いほうですが、この比率は平均的な数値となっています。これは、返済するときに交付税に上乗せされて国から交付（普通交付税措置）されるものなどを多く借り入れてきたためであり、無理のない返済をしているといえます。

今後は、借金そのものを減らしながら、さらにより数値となるよう努力していきます。

特別会計

特別会計は、特定の事業をより円滑に進めるために、一般会計から分離して別に収支経理を行うもので、国の法律や市の条例によって設けることができる会計制度です。

会計名	歳入決算額		歳出決算額	実質収支額
		うち一般会計からの繰入金		
競輪事業	16億1,203万円	7,088万円	16億1,203万円	—
国民健康保険事業	79億2,249万円	6億750万円	76億9,585万円	2億2,664万円
下水道事業	25億1,101万円	13億8,000万円	24億5,897万円	5,204万円
交通災害共済事業	2,724万円	—	2,158万円	566万円
老人保健事業	64億7,363万円	4億8,939万円	64億3,533万円	3,830万円
長野土地区画整理事業	2億214万円	—	1億8,300万円	1,914万円
介護保険事業	37億7,779万円	5億3,000万円	36億3,189万円	1億4,590万円
南河原地区簡易水道事業	1億6,988万円	4,600万円	1億3,569万円	3,419万円

※実質収支額は、歳入歳出決算の差引額から繰越事業に充てる額を控除した実質的な翌年度への繰越額です。

※競輪事業は、平成18年度で終了しました。

バランスシートを公表します

～平成18年度までの普通会計決算をもとに作成しました～

バランスシート(平成19年3月31日現在)

借方(資産の運用)

貸方(資金の調達)

◎有形固定資産

道路、公園、学校などの施設整備費や高額な備品購入費で、長期(1年超)にわたって利用、所有する有形の資産です。施設の耐用年数に応じて減価償却を行っています。ただし、土地の購入費については、減価償却を行っていません。

◎投資等

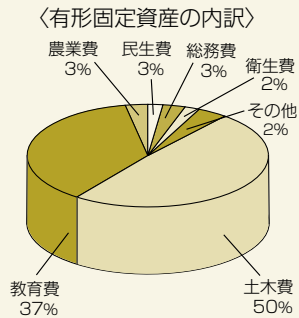
行田市産業・文化・スポーツいきいき財団や行田市土地開発公社などへの出資金、入学準備資金などの貸付金や特定目的基金です。

◎流動資産

財政調整基金や減価基金、基準日現在保有する現金・預金のほか、地方税などの未収金で、原則として1年以内に現金化される資産です。

資産の部

有形固定資産 860億 103万円 (93.0%)
(うち土地 246億7,221万円)



投資等 25億9,076万円 (2.8%)
投資および出資金 2億3,872万円
貸付金 1億 757万円
基金 22億4,447万円

流動資産 38億5,812万円 (4.2%)
現金・預金 26億8,703万円
未収金 11億7,109万円

負債の部

固定負債 268億5,079万円 (29.0%)
地方債 231億5,830万円
債務負担行為 0円
退職給与引当金 36億9,249万円

流動負債 22億8,980万円 (2.5%)
翌年度償還予定額 22億8,980万円
翌年度繰上充用金 0円

負債の部合計
291億4,059万円

正味資産の部

正味資産 633億 932万円 (68.5%)
国庫支出金 73億3,098万円
都道府県支出金 22億7,738万円
一般財源等537億 96万円

正味資産の部合計
633億 932万円

◎固定負債

返済期限が1年を超える債務のことです。市の借金のうち、翌々年度以降に返済予定の額や、職員全員が年度末に普通退職したと想定して算出した所要額などです。

◎流動負債

市の借金のうち、返済期限が1年以内の債務のことで、翌年度返済予定の額です。繰上充用とは、歳入が歳出に対して不足する場合に、翌年度の歳入を繰り上げて、その年度の歳入に充てることですが、該当はありません。

◎正味資産

現在までの世代が既に負担し、資産の形成のために充てられた返済不要の財源で、資産と負債の差額です。国庫支出金と市税などの一般財源です。

資産の部合計 924億4,991万円(100%)

負債・正味資産の部合計 924億4,991万円(100%)

バランスシートって何？

バランスシートとは、企業会計でいう「貸借対照表」のことで、市の財産(資産)は何がどれだけあるのか、その財源として借金(負債)はいくらあるのか、税金など(正味資産)はどれだけ充てられたのかをみて、市の財政状況がどうなっているのかを判断するための健康診断表となるものです。

市では、今後も市民の皆さんの要望に応えた施策を進めるため、限られた財源を効率的に活用し、健全な財政運営に努めていきます。

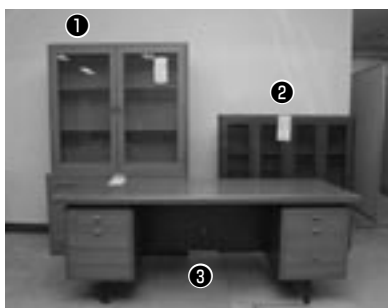
▶問い合わせ 財政課(内線326)

差し押さえた財産を公売します

市税滞納を理由に、行田市が差し押さえた財産（動産）、自動車を入札により公売します。

- ▶ **公 売 日 時** 11月11日（日）午後1時40分～2時
- ▶ **場 所** 市役所西側駐輪場付近特設会場
- ▶ **公 売 の 方 法** 一般競争入札（最も高い金額で入札した方に売却します）
- ▶ **公 売 保 証 金** 公売保証金は必要ありません
- ▶ **入札参加資格** どなたでも参加することができます。ただし、市税を滞納している方および税務関係職員は公売に参加できません（国税徴収法第92条「買受人の制限」、第108条「公売実施の適正化のための措置」などによる）。また、代理人が入札する場合は、代理権限を証する委任状が必要です。

※入札に参加される方に説明を行いますので、公売日の午後1時30分までに公売会場へお越しください



①・②…書棚 ③…机



④…応接セット



⑤…自動車

※公売財産は、事情により予告なく中止する場合がありますので、入札の際にご確認ください

《公売財産の下見会》

- ▶ **開 設 日 時** 11月11日（日）午前9時～正午
- ▶ **場 所** 市役所西側駐輪場付近特設会場

※詳細については、市ホームページに掲載しています。また、手続きや公売財産の詳しい内容を記載した「公売広報」を税務課収納担当に用意していますので事前にご確認ください。

滞納処分（差押、公売など）の強化

市では、納期限までに納めていただいた納税者との公平性を保つため、納税指導（督促状や催告書の送付、訪問など）を行っても、滞納しているままでいる方に対し、滞納処分（差押、公売など）を強化します。これにより給与・預貯金・自動車・軽自動車を重点的に調査し、差押を実施します。

病気・失業・災害などの特別な事情により、やむを得ず納期限までに納められない場合は、期間を決め納税を猶予する制度や分割納付などの方法があります。また、申請により減免が認められる場合がありますので、早めに相談してください。

なお、次のとおり開庁時間以外にも市税の納付や納税相談を実施しています。仕事の都合で、日中に納付することが困難な場合などには、相談窓口をぜひご利用ください。

- ▶ **夜間納税・相談窓口** 毎週火曜日 午後7時まで
- ▶ **日曜納税・相談窓口** 毎週日曜日 午前8時30分～正午

- ▶ **問い合わせ** 税務課収納担当（内線236・237）

後期高齢者医療制度が始まります

平成20年4月から新たな医療制度となる「後期高齢者医療制度」が始まります。この制度では、対象者となる75歳以上の方は各医療保険を離れ、新たに後期高齢者医療制度へ移行し、保険料は後期高齢者医療広域連合へ支払うこととなります。

○被保険者

新たな医療制度の被保険者となる方は、県内にお住まいの75歳以上の方および65歳以上75歳未満で一定の障がいのある方（申請して広域連合の認定を受ける必要があります）です。これは現行の老人保健制度における老人医療対象者と同じです。

※健康保険組合などの被扶養者であった方も対象となり、後期高齢者医療制度への加入後は、国民健康保険、健康保険組合、政府管掌保険、共済組合などの被保険者ではなくなります。

○加入する日

- ・75歳になったとき（75歳の誕生日当日）から
- ・75歳以上の方が県外から本市に転入した日から
- ・65歳以上75歳未満の一定の障がいのある方が申請して広域連合から認定を受けた日から

○被保険者証（保険証）

被保険者証（保険証）は平成20年3月下旬にお届けの予定です。

○保険料

保険料は被保険者個人単位で算定・賦課します。保険料の徴収方法は原則として特別徴収（年金天引き）の方法となります。

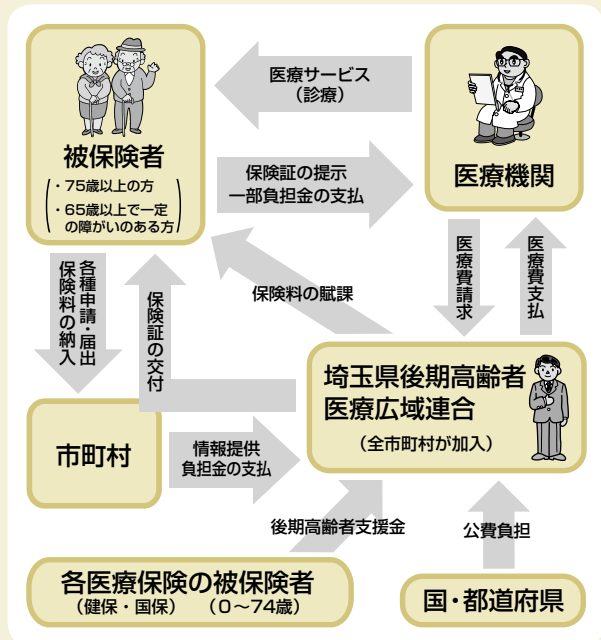
○医者にかかるとき

医者にかかるときは、埼玉県後期高齢者医療広域連合が交付した保険証をお持ちください。窓口では、現在の老人保健制度と同様、かかった医療費の一部（1割。ただし、現役並み所得者は3割）を負担していただきます。

○運営のしくみ

後期高齢者医療制度は、県内の全市町村で構成する『埼玉県後期高齢者医療広域連合』が運営主体となり、保険料の決定、保険証の交付、医療を受けたときの給付などを行います。

本市では、保険料の徴収、各種申請・届け出の受け付け、保険証の引き渡しなど、被保険者の皆さんにとって身近な窓口業務を行います。



▶問い合わせ 保険年金課医療担当（内線226・227）

ワークライフバランスを進めましょう

仕事と子育てなどの家庭生活の調和を意味する「ワークライフバランス」という考え方が、企業にとって人材の確保・定着という視点から注目されています。

県では10月を「ワークライフバランス推進月間」として位置づけ、普及啓発を進めています。特に10月21日(日)から27日(土)は、キャンペーン週間として、定時退社を呼びかけています。皆さんの職場でも定時または早めの退社に努めるとともに、働き方を見直してみませんか。

▶問い合わせ 県福祉部少子政策課少子政策担当
☎048-830-3343 FAX048-830-4784
ホームページ <http://www.pref.saitama.lg.jp/A03/BF00/kosodate/kosodate1.htm>

ひとり親家庭児童就学支度金支給制度

市町村民税非課税世帯のひとり親家庭の児童が中学校へ入学するとき、就学支度金が支給されます。次に該当する方は、12月28日(金)までに子育て支援課6番窓口へ申請してください。

なお、受付日を過ぎると、支給されませんのでご注意ください。

▶対象 母子家庭の母、父子家庭の父または父母のない児童を養育している方で、平成20年4月に中学校へ就学する児童を扶養している市町村民税非課税世帯の方(ただし、生活保護受給世帯を除く)

▶支給額 10,000円

▶申請方法 子育て支援課で配布している申請書を12月28日(金)までに提出してください。申請時に、振り込み金融機関が証明できるもの(通帳など)の提示が必要です。

▶問い合わせ 子育て支援課(内線262)または県子ども安全課児童手当・母子福祉担当 ☎048-830-3337

～市民の声を市政に～

「市長と語る対話集会」の参加者を募集します

「もし自分が市長だったら」という視点から、市政に対する意見・提言を寄せていただく「市長と語る対話集会」は、自治会長をはじめ各種団体に呼びかけ、さらに公募の市民の皆さんに参加していただき、対話方式で市長が直接伺うものです。

今回は、次の地区を対象に、集会に参加できる市民の方を募集しますので、ぜひ申し込みください。

▶開催日時・場所

	地 区	日 時	場 所
第 4 回	須加・荒木	10月30日(火) 午後7時～8時30分	荒木公民館
第 5 回	北河原・星宮・南河原	11月 8日(木) 午後7時～8時30分	南河原支所
第 6 回	長野	11月17日(土) 午前10時30分～正午	長野公民館

▶応募資格 該当地区在住の方

▶申し込み 10月16日(火)午前9時～19日(金)午後5時に、電話で申し込みください。

▶問い合わせ 広報広聴課広報広聴担当(内線318)

第30回 事業所人権教育研修会

▶日時 11月13日(火)午後2時～4時 ▶場所 産業文化会館2階第2会議室 ▶内容 ○啓発映画「ザ・会社」 ○講演「えせ同和行為について」講師：佐藤典康さん(さいたま地方法務局熊谷支局)
▶定員 60人 ▶入場無料 ▶主催 行田市、行田市教育委員会 ▶申し込み・問い合わせ 人権推進課(内線221) F A X 5 5 4 - 0 1 9 9

足袋蔵めぐり2007

市内には、足袋産業最盛期の面影を伝える足袋蔵などの貴重な近代化遺産が数多く残されています。そこで「近代化遺産の日」の10月20日に、市内にある足袋蔵や国登録有形文化財を歩いてめぐります。

▶日時 10月20日(土)【午前の部】午前9時30分に商工センター玄関前集合【午後の部】午後1時に忠次郎蔵集合 ▶見学場所【午前の部】足袋とくらしの博物館、十万石ふくさや行田本店ほか【午後の部】忠次郎蔵、彩々亭ほか ▶定員 各25人(先着順、1日を通しての参加も可) ▶参加費 【午前の部】300円【午後の部】600円【1日】1,400円(昼食込み) ▶主催 行田市教育委員会、NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク ▶その他 足袋を履いて参加の方は、参加費を200円割引します。また、和服で参加の方にはプレゼントがあります。当日は午前10時～午後4時に、国登録有形文化財「高澤家住宅」(長野3-5-41)を公開しています。▶申し込み・問い合わせ 文化財保護課 ☎ 5 5 3 - 3 5 8 1

全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間

さいたま地方法務局と埼玉県人権擁護委員連合会は、女性をめぐるさまざまな人権問題への取り組みとして、全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間を設け、女性からの電話による相談を実施します。なお、秘密は厳守されます。

▶期間 11月12日(月)～18日(日) ▶時間 午前8時30分～午後7時※ただし、17日(土)および18日(日)は午前10時～午後5時 ▶電話番号 0570-070-810 ▶相談担当者 法務局職員、埼玉県人権擁護委員連合会男女共同参画社会推進委員などの女性の人権擁護委員 ▶問い合わせ さいたま地方法務局人権擁護課 ☎ 0 4 8 - 8 6 3 - 2 2 1 1

第5回北埼玉郡 みんな笑顔でヒューマンフェスタ

▶日時 10月27日(土)午前10時～午後3時30分 ▶場所 羽生市産業文化ホール ▶内容 ○作文発表(午前10時20分～) ○舞台演芸(午前10時30分～) ○講演会(午後1時30分～)「“あたりまえの心”が大切」講師：高橋元太郎さん ○抽選会(午後3時～) ○会場内・屋外イベント(人権パネル・ポスター・標語などの展示・各市町特産品・農産物の販売など) ▶入場無料 ▶主催 北埼玉地区人権フェスティバル実行委員会 ▶問い合わせ 人権推進課(内線221)

開館20周年記念・第21回企画展 忍城主成田氏

武蔵国成田郷を拠点とした武蔵武士成田氏は、縁戚関係にあった安^{あほ}保氏の一族がその名跡を引き継ぎ、北武蔵に勢力を広げました。14世紀後半に忍城主となり、古河公方足利氏や関東管領上杉氏に従いますが、後北条氏や上杉謙信といった強力な戦国大名が武蔵国に勢力を伸ばすと、追従や離反を繰り返し、動乱の戦国時代を生き延びていきます。

天正18年に豊臣秀吉が関東に侵攻すると、忍城主成田氏長は後北条氏側に加勢し、小田原城に籠城します。忍城は石田三成や浅野長吉ら豊臣方の武将に攻められますが、小田原城開城後まで持ちこたえ、関東の戦国合戦のフィナーレを飾りました。開城により成田氏長は忍城主の地位を明け渡しました。

今回、これまで軍記物など後世の書物で語られることの多かった成田氏に関する資料を展示します。群雄割拠する中世の関東を舞台に活躍した成田氏の盛衰を知っていただき、郷土の歴史の認識を深めてもらいたいと思います。

主な展示資料

ろくじょうはちまんぐうぞうえいちゅうもん 六条八幡宮造宮注文 (国立歴史民俗博物館) かんとうげちじょう 関東下知状 (埼玉県立文書館)
上杉輝虎書状 (群馬県立歴史博物館) 成田氏長書状 (神奈川県立歴史博物館)
豊臣秀吉朱印状 (大阪城天守閣) 浅野長吉書状 (名古屋大学文学部) ほか
合計約60点

▶期間 10月13日(土)～11月25日(日) (月曜休館) ▶開館時間 午前9時～午後4時30分 (入館は午後4時まで) ▶入館料 大人200円、大学・高校生100円、小・中学生50円 ※団体割引あり



豊臣秀吉朱印状 (天正18年7月)

講演会

- ①「忍城主成田氏—成田氏長を中心に—」
▶日 時 10月20日(土) 午後2時～3時30分
▶講 師 新井浩文さん (埼玉県教育局生涯学習文化財課)
- ②「関東戦国史の開幕—北武蔵を中心に—」
▶日 時 11月4日(日) 午後2時～3時30分
▶講 師 峰岸純夫さん (東京都立大学名誉教授)
- ①②とも
▶場 所 郷土博物館講座室
▶定 員 80人
▶申し込み 電話で郷土博物館へ ☎554—5911

▶問い合わせ 郷土博物館 ☎554—5911

火縄銃の演武

「第28回行田商工祭・忍城時代まつり」の開催に合わせ、「獅子の会」による火縄銃の演武が行われます。

- ▶日 時 11月11日(日)
【1回目】午前11時～
【2回目】午後1時30分～

▶場 所 忍城址

5館連続展示 関東の戦国を知る

9月から来年2月にかけて、郷土博物館ほか5館が関東の戦国時代をテーマにした展示を開催します。これに合わせてスタンプラリーを実施しており、5館すべてを見学された方、先着100人に記念品を差し上げます。

- ・川越市立博物館「後北条氏と河越城」9月15日～10月22日
- ・鉢形城歴史館「後北条氏と印」10月13日～11月25日
- ・葛飾区郷土と天文の博物館「関東戦乱—戦国を駆け抜けた葛西城—」10月21日～12月9日
- ・県立嵐山史跡の博物館「後北条氏の城—合戦と支配—」12月1日～2月24日

▶問い合わせ 郷土博物館 ☎554—5911

博物館ボランティアを募集します

郷土博物館では戦国時代の鑑(複製)の着付けを行っていただけるボランティアを募集します。事前に研修を経て活動します。

- ▶活動日 原則として春と秋の休日で参加可能な日 ▶研修日 10月28日(日) 午前10時～正午 ▶対象 成人 ▶定員 若干名 (先着順) ▶申し込み・問い合わせ 10月27日(土)までに電話で郷土博物館へ ☎554—5911



杉山 定男 氏

9月定例会市議会において同意を得て、公平委員会委員として杉山定男氏（長野・68歳）が再任されました。
▼問い合わせ 監査委員事務局 ☎564-6521

公平委員会委員に
杉山 定男 氏



木暮 照子 氏

9月定例会市議会において同意を得て、教育委員会委員として木暮照子氏（持田・60歳）が新たに任命されました。
▼問い合わせ 教育総務課 ☎556-8311

教育委員会委員に
木暮 照子 氏

平成20年度私立幼稚園入園のご案内

私立幼稚園は、それぞれの園において特色ある保育内容と子どもの年齢に合わせたカリキュラムを用意しています。入園を希望される方は下記幼稚園に直接お問い合わせください。

なお、未就園児を対象とした体験保育や園庭解放なども行っており、見学も可能です。

▶案内配布 10月15日（月）～

▶願書受付 11月1日（木）～

幼稚園名	住 所	電話番号
老 本 幼 稚 園	旭町16-38	553-2771
行 田 幼 稚 園	富士見町2-27-5	554-5169
富士見ヶ丘幼稚園	駒形 1-9-7	556-7494
ホザナ幼稚園	本丸11-20	555-2301
まつたけ幼稚園	門井町2-19-9	554-7348
南 河 原 幼 稚 園	南河原777-2	557-0234
やごう幼稚園	谷郷2-5-1	554-5752
やなぎ幼稚園	渡柳563-3	559-1001

○2年保育 平成15年4月2日～16年4月1日生

○3年保育 平成16年4月2日～17年4月1日生

○4年保育 平成17年4月2日～18年4月1日生

（4年保育の募集人員など詳細は各園にお問い合わせください）

※幼稚園児も所得金額に応じて就園奨励費が支給され、保育料などが減免される制度があります。詳細は平成20年6月以降に幼稚園を通じてお知らせします。

※長時間保育や夏休み中の預かり保育などの制度もありますので、ぜひご利用ください。

▶問い合わせ 行田市私立幼稚園連盟（やごう幼稚園）☎554-5752

平成20年度「保育園入園希望者」および「学童保育室入室希望者」の案内は、市報ぎょうだ11月号でお知らせします。なお、市ホームページでは10月15日（月）からご覧いただけます。

▶問い合わせ 子育て支援課（内線262・263）

住民票の一部の写しの閲覧者を公表します

平成18年度に住民票の一部の写しの閲覧を許可した者を、行田市住民基本台帳の一部の写しの閲覧に関する規程第13条により、次のとおり公表します。

1. 住民基本台帳法第11条第1項の規定によるもの
……なし

2. 住民基本台帳法第11条の2第1項の規定によるもの
……5件

(1)申出者の氏名	(社)中央調査社 会長 若林清造
(2)利用目的の概要	平成18年度土地問題に関する国民の意識調査
(3)閲覧の年月日	平成18年12月12日
(4)閲覧に係る住民の範囲	谷郷1丁目
※国土交通省土地水資源局からの委託によるもの	

(1)申出者の氏名	(社)中央調査社 会長 若林清造
(2)利用目的の概要	第29回生活意識に関するアンケート調査
(3)閲覧の年月日	平成18年12月19日
(4)閲覧に係る住民の範囲	桜町2丁目、3丁目、富士見町2丁目
※日本銀行情報サービス局からの委託によるもの	

(1)申出者の氏名	(社)新情報センター 事務局長 平谷伸次
(2)利用目的の概要	日本人の性格・文化・環境意識調査
(3)閲覧の年月日	平成19年1月11日
(4)閲覧に係る住民の範囲	天満
※独立行政法人国立環境研究所からの委託によるもの	

(1)申出者の氏名	日本たばこ産業(株) お客様コミュニケーション部長 仲井賢治
(2)利用目的の概要	2007年全国たばこ喫煙者率調査
(3)閲覧の年月日	平成19年1月23日
(4)閲覧に係る住民の範囲	城西2丁目

(1)申出者の氏名	(社)新情報センター 事務局長 平谷伸次
(2)利用目的の概要	障害者に関する世論調査
(3)閲覧の年月日	平成19年1月15日
(4)閲覧に係る住民の範囲	野
※内閣府大臣官房政府広報室からの委託によるもの	

▶問い合わせ 市民課（内線242）

平成20年 行田市 新成人を祝う会



▶日時 平成20年1月13日(日)午後1時受付 午後1時30分開会 ▶場所 産業文化会館ホール

行田市新成人を祝う会実行委員募集

市では、毎年、新成人でつくる実行委員会が中心となり、新成人を祝う会の企画・運営を行っています。ぜひご応募ください。

▶実行委員会回数 3~5回 ▶時間 午後7時~9時(第1回実行委員会は10月26日(金)予定) ▶場所 産業文化会館2A会議室 ▶対象 昭和62年4月2日~昭和63年4月1日生まれの方 ▶募集人員 10人程度 ▶申し込み・問い合わせ ひとつくり支援課 ☎556-8319

浮き城先生を募集します

市では、小学校1・2年および中学校全学年で少人数学級編制を実施しています。これに伴い、子どもが好きで教えるのが大好きな熱意溢れる先生を募集します。

▶募集人員 市内の小・中学校に常勤する教諭若干名 ▶募集要件 小学校または募集要項に指定する科目の中学校の免許状をお持ちの方(平成20年3月31日までに指定免許を取得見込みの方も可)で、昭和47年4月2日以降に生まれた方。▶募集要項 学校教育課(産業文化会館3階)または人事課で配布します。郵送希望の場合は、120円切手を貼り郵便番号とあて先を明記した返信用の角型2号封筒を同封のうえ、学校教育課まで申し込みください。▶申し込み先 〒361-0052 行田市本丸2-20 行田市教育委員会学校教育課 ▶願書締切【窓口受付】12月25日(火)午後5時まで【郵送受付】12月22日(土)消印有効 ▶採用試験【1次試験】平成20年1月12日(土)【2次試験】平成20年1月26日(土) ▶任用期間 平成20年度の1年間 ▶待遇 当市規定により、埼玉県費負担教職員と同程度の給与を支給します。▶問い合わせ 学校教育課☎556-8316

みらいの教育フォーラムを 開催します

市では、教育特区の認定をはじめとして、小・中学校の教育活動のさらなる活性化に取り組み、着実に成果を上げています。本市の特色ある教育活動の一端を、広く市民の皆さんにご覧いただき、みらいの教育について共に考える「みらいの教育フォーラム」を開催します。

▶日時 11月17日(土)午後1時開場 午後1時30分開演 ▶場所 教育文化センター「みらい」文化ホール ▶内容 ○市内の学校の吹奏楽部によるオープニング・セレモニー ○特色ある教育活動(市内の小学校の取り組みの紹介) ○みらいの英語活動(市内の小学校の児童による英語活動のミニ公開授業) ○講演 講師:上條さなえさん(児童文学作家、前埼玉県教育委員会委員長) ▶その他 フォーラム当日は、「ひととき保育」(2歳~小学3年生までのお子さんを対象とした預かり保育・無料)を実施します。ひととき保育をご希望の方は、11月12日(月)までに学校教育課まで電話で申し込みください。なお、このひととき保育は、NPO法人子育てネット行田の皆さんのご協力により実施します。▶問い合わせ 学校教育課☎556-8316

小・中学校の補助員を募集します

小・中学校の特別支援学級などで、児童・生徒に対して学校生活上の補助を行う仕事です。教員免許状所持者や同様の職務の経験がある方を希望しますが、資格は特に問いません。どなたでも応募できます。

▶勤務場所 市内の小・中学校 ▶勤務時間 勤務校の始業時間から終業時間まで ▶募集人数 若干名 ▶時給 750円(交通費などの支給はありません) ▶賃金支払 月末締め切り、翌月末払い(口座振り込み) ▶応募方法 10月31日(水)までに、市販の履歴書を学校教育課(産業文化会館3階)へ提出してください。折り返し面接日を連絡します。▶問い合わせ 学校教育課☎556-8316

平成20年版埼玉県民手帳

県や市町村に関する各種統計情報を掲載した手帳ですので、ご利用ください。

▶販売開始日 11月14日(水・県民の日) ※市役所での販売は12月27日(木)まで

▶規格

価格	大きさ	色	備考
500円 (税込)	14×8.5cm	黒 (旧グリーン)	月間予定表部分 従来どおり
		グレイッシュ ブルー	月間予定表部分 カレンダー型

※平成20年版は、表紙の色により月間予定表部分が異なります。

▶販売場所・問い合わせ 企画政策課統計担当(内線310)

～災害を体験してみませんか～

防災体験教室を 開催します

市では、自然災害や火災を疑似体験し、防災について学ぶことができる「防災体験教室」を開催します。

「震度7の地震」「風速30メートルの強風」「煙が充満した部屋」が、どのようなものか体験してみませんか。そして、個人で、家庭で、防災についてもう一度考えてみましょう。

▶日時 11月17日(土)午前9時30分～正午 ▶場所 埼玉県防災学習センター(鴻巣市) ▶内容 防災のおはなし(地震のしくみなど)、災害疑似体験(地震体験、強風体験、煙体験、消火体験)、センター内展示物などの見学 ▶対象 市内在住・在勤・在学の方 ▶募集人数 30人(先着順) ▶参加無料 ▶集合 午前9時30分に市役所正面玄関 ▶解散 正午ごろ市役所 ▶交通手段 市役所～センター間はバスで送迎 ▶申し込み・問い合わせ 11月8日(木)午後5時までに電話またはFAXで防災安全課防災担当へ(内線282)FAX556-2117

秋季全国火災予防運動

『火は見てる あなたが離れる その時を』

11月9日(金)から15日(木)までの7日間、全国一斉に秋の火災予防運動が実施されます。これは、火災が発生しやすい時季をむかえるに当たり、皆さんに火災予防に対する認識を深めていただき、尊い生命や大切な財産を火災から守るための運動です。

本市では平成18年中、火災は44件発生しましたが、今年は9月18日現在で16件発生しています。市民の皆さん一人ひとりが火災を発生させないように注意してください。

【重点目標】

- (1) 住宅防火対策の推進
- (2) 放火火災・連続放火火災予防対策の推進
- (3) 特定防火対象物などにおける防火安全対策の徹底

次の3つの習慣と、4つの対策を実践して、火災の発生を防ぐとともに、万が一火災が発生した場合には被害の軽減を図ってください。

『住宅防火 いのちを守る 7つのポイント』

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具・衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

▶問い合わせ 消防本部予防課 ☎556-3005

ガーデニング講座 「草物のミニ盆栽と苔玉」

部屋の片隅に小さな緑の空間を作ってみませんか。草木が日ごろの疲れを癒してくれることでしょう。

▶日時 10月27日(土)午前10時～正午 ▶場所 VIVAぎょうだ学習室 ▶講師 高橋勝美さん ▶対象 市内在住・在勤の方 ▶定員 20人(先着順) ▶参加費 500円程度 ▶持参するもの ビニール手袋(薄手のもの)、持ち帰り用ビニール袋、新聞紙 ▶申し込み 10月5日(金)～25日(木)に同センターへ ※保育(2歳以上の未就学児)の申し込みは10月19日(金)まで ▶問い合わせ 男女共同参画推進センター「VIVAぎょうだ」 ☎556-9301 FAX556-9310 Eメール viva@city.gyoda.lg.jp



ぎょうだ 男女共同参画 フォーラム2007



田嶋陽子さん

新しい女性学を提唱し、テレビ朝日「ビートたけしのTVタックル」、よみうりテレビ「たかじんのそこまで言って委員会」に出演するなど、マスコミでも活躍中の田嶋陽子さんをお迎えします。

▶日時 11月25日(日)午後1時30分開場 午後2時開演 ▶場所 教育文化センター「みらい」ホール ▶講演 「女性と漢字」 ▶講師 田嶋陽子さん(女性学者) ▶入場料 500円 ▶入場券販売場所および期間 ①男女共同参画推進センター「VIVAぎょうだ」・市役所生活課:10月19日(金)～11月24日(土) ②公民館・地域文化センター・南河原支所:10月19日(金)～11月2日(金) ※VIVAぎょうだ、公民館、地域文化センターは月曜休館 ▶その他 手話通訳・ひととき保育(2歳以上の未就学児の保育・無料)を行います。保育を希望される方は11月9日(金)までに申し込みください。(当日申し込み不可) ▶申し込み・問い合わせ 男女共同参画推進センター「VIVAぎょうだ」 ☎556-9301



鈴木和夫 白河市長

白河市長に鈴木和夫氏が当選

友好都市白河市の成井英夫市長の死去（平成19年6月26日）に伴う白河市長選挙が行われ、「伝統ある白河、継承と発展へ」をスローガンに訴えていた前福島県企業局長の鈴木和夫（すずき・かずお）氏（57歳・無所属）が、他の三候補を破って初当選し、7月29日付で就任されました。

鈴木市長は、昭和47年に福島県庁に奉職され、構造改革室長、商工労働部政策監、相双地方振興局長、企業局長などを歴任されました。

第21回

行田市生涯学習推進市民大会の 体験発表団体を募集します

2月17日（日）に産業文化会館ホールで開催する「第21回行田市生涯学習推進市民大会」の体験発表団体を募集します。

▶**応募資格** 市内在住・在勤・在学、または市内の公民館などを活動拠点としている10人以上の団体 ▶**募集団体** 2団体 ▶**発表時間** 15分（入・退場含む）▶**応募方法** 団体名、代表者の住所・氏名・電話番号、応募者名簿、団体紹介（400字程度）、昨年度の活動状況を記入した書類（様式自由）を、郵送または持参してください。▶**申し込み** 〒361-0052 行田市本丸2-20 行田市教育委員会ひとりづくり支援課 ▶**締め切り** 11月30日（金）必着 ▶**選考方法** 提出書類を参考に選考 ▶**問い合わせ** ひとりづくり支援課 ☎556-8319

ルールを守って明るく住マイル

一人ひとりがルールを守って
住みよいまちをつくりましょう

「違反建築なくそう運動」が10月9日～18日の期間で実施されます。この運動は、違反建築をなくして、皆さんが安全で安心できる住みよいまちづくりを行うため、埼玉県が毎年行田市および各市と共同で実施するものです。

期間中は、建築パトロールにより違反建築物の是正や適正な建築工事の実施をお願いすることになります。

また、防犯に配慮した住まいづくりの説明や無料耐震診断、建築相談会が開催されますので、お気軽にお出かけください。

▶**日時** 10月17日（水）午後2時～4時 ▶**場所** 商工センター401研修室 ▶**内容** ○あなたの住まいの防犯対策について ○都市計画法の一部改正について ○建築基準法改正後の審査の現場から ○木造住宅無料耐震診断、建築相談 ▶**主催** 埼玉県、行田市、（社）埼玉建築士会 ほか ▶**問い合わせ** 開発指導課建築指導担当（内線363）

下水道事業受益者負担金の 納付をお忘れなく

第2期納期限 10月29日（月）

※期限内納付をお願いします

期限内納付が困難な場合は、納付相談をご利用ください。また、お支払いに便利な口座振替をご利用ください。

夜間納付受付も実施しています。（10月の毎週火曜日午後5時30分～7時）

▶**問い合わせ** 下水道課業務担当 ☎564-0303（前谷1-1・水道庁舎内）

第9回行田市障害者（児） スポーツ・レクリエーション大会

障害者（児）とその家族およびボランティアが、互いに交流を深めるとともに、障害者（児）の健康増進と社会参加を促進する大会です。

▶**日時** 11月17日（土）午前9時～正午 ▶**場所** 行田グリーンアリーナ ▶**対象** 市内在住・在勤・在学する障害者（児） ▶**内容** 風船バレー、卓球バレー、ポッチャ、フライングディスク、STTなど ▶**参加無料** ▶**持ち物** 運動に適した服装、タオル、上履き ▶**その他** 当日の運営などに協力していただけるボランティアを募集しています。▶**申し込み** 【参加者】10月26日（金）までに参加申込書を福祉課へ 【ボランティア】10月26日（金）までに行田市社会福祉協議会（☎557-5400）へ ▶**問い合わせ** 福祉課障害福祉担当（内線265）FAX 554-6701

特産品無料抽選会

北埼玉地域「彩の国づくり」連絡協議会では、圏域のPRとイメージアップを図るため、圏域の6市町が参加し、歴史や観光などのPRコーナーを設けるとともに、いずれかの特産品が当たる無料抽選会を開催します。なお、特産品がなくなり次第、終了となりますのであらかじめご了承ください。

▶日時 11月11日(日)午前9時～▶場所 東北自動車道 羽生パーキングエリア内(下り)▶主催 北埼玉地域「彩の国づくり」連絡協議会(行田市・加須市・羽生市・騎西町・北川辺町・大利根町)▶問い合わせ 同協議会事務局(企画政策課内・内線308)

利根広域物産展

埼玉県利根広域行政推進協議会では、圏域のPRとイメージアップを図るため、広域物産展を開催します。

物産展では、圏域内の15市町が参加し、圏域で生産された特産品の展示即売や歴史、観光などのPRコーナーを設けていますので、ぜひご来場ください。

▶日時 10月27日(土)午前10時～午後3時▶場所 「新しい村」(宮代町字山崎777-1・東武動物公園東ゲートすぐそば ☎0480-36-3441)※当日は、新しい村主催によるイベント「村の秋まつり」も同時開催されます。▶交通 【電車】東武伊勢崎線・東武動物公園駅西口下車徒歩10分【自動車】東北自動車道「久喜IC」から春日部方面へ約15分※駐車台数に限りがありますので、できるだけ電車などでのご来場をお願いします。▶主催 埼玉県利根広域行政推進協議会(行田市・加須市・羽生市・久喜市・蓮田市・幸手市・騎西町・北川辺町・大利根町・宮代町・白岡町・菖蒲町・栗橋町・鷲宮町・杉戸町)▶問い合わせ 企画政策課(内線308)または同協議会事務局(久喜市企画政策課内) ☎0480-22-1111(内線3242)

公民館講師にご登録ください

公民館では、さまざまな事業を行っています。あなたが、長年培ってきた技能や知識は、市民にとって貴重な宝です。あなたの知識や技能を、ふるさと行田に生かしてみませんか。

▶指導内容 趣味的なもの、歴史、生活の知恵、昔の遊び、スポーツ、自然観察、ものづくりなど▶登録方法 最寄りの公民館へ講師登録カードを提出してください▶問い合わせ 中央公民館 ☎556-2649

行田商工会議所パソコンセミナー ネット株式講座

▶日時 10月29日(月)・31日(水) 午後2時～5時▶場所 行田商工会議所会議室(商工センター内)▶定員 8人(先着順)▶受講料 4,000円(会員は2,000円)※テキスト代、資料は受講料に含まれます▶申し込み・問い合わせ 電話またはFAX(住所・氏名・電話番号を明記)で行田商工会議所会員サービス課へ ☎556-4111 FAX556-0059 ホームページ <http://www.gyoda-cci.or.jp/>

子育てサポート講習会受講者募集

▶日時 11月6日(火)・8日(木)・13日(火)・15日(木)・20日(火)・22日(木)(全6回)午前10時～午後3時▶場所 行田市シルバー人材センターむつみ講習室▶内容 子育てサポートに関する技術や知識を習得し、企業への就職や子育てサポートの実践活動を推進します。▶対象 60歳以上の健康な方で就業意欲があり全日程参加可能な方▶定員 20人(先着順)▶受講無料▶申し込み 郵便番号・住所・氏名(フリガナ)・性別・年齢・電話番号・「子育てサポート講習希望」と記入のうえ、はがきまたはFAXで社団法人行田市シルバー人材センター(〒361-0074 行田市旭町13番24号)へ申し込みください。▶締め切り 10月26日(金)必着▶問い合わせ 同センター ☎556-5221 FAX554-2586

シルバー人材センターでは60歳以上の方で、会員として活動できる新規会員を募集しています。毎月第3木曜日の午前10時から入会説明会を開催していますので、入会を希望する方はぜひお越しください。

手話奉仕員養成講習会(基礎課程)

▶日時 10月29日～3月24日の月曜日(ただし祝日および12月31日を除く・全18回)午後1時30分～3時30分▶場所 総合福祉会館「やすらぎの里」第3研修室▶対象 手話奉仕員養成講習会入門課程を修了した方および同等の技術を有する方▶定員 20人▶費用 1,470円(教材費)▶申し込み・問い合わせ 10月1日(月)から電話で行田市社会福祉協議会へ ☎557-5400

10月は「労働保険適用促進月間」です

労働保険は「労災保険」と「雇用保険」の総称で、労働者が業務中や通勤途上に負傷した場合のほか、失業した場合などに必要な保険給付などを行うものです。原則として労働者を一人でも雇用している事業主は、加入手続きを行い、労働保険料を納付する必要があります。

未加入の事業主の方は、加入の手続きを行ってください。なお、手続指導および加入勧奨活動によっても自主的な加入手続きをとらない事業主については、職権による強制的な保険関係成立手続きを行い、労働保険料の認定決定を行います。

▶**問い合わせ** さいたま労働基準監督署 ☎048-600-4802、ハローワーク行田 ☎556-3151、埼玉労働局労働保険徴収課 ☎048-600-6203

技能講習受講生募集

県立職業能力開発センターおよび県立高等技術専門学校では、在職者を対象に知識・技能の向上や資格取得を支援する「技能講習」の受講生を募集しています。

パソコン操作や各種資格取得準備講習など、在職者に役立つ講座を用意しています。詳しくは、ホームページ (http://www.pref.saitama.lg.jp/A07/BC00/kojo/kojo_tp.html) またはパンフレットをご覧ください。

▶実施高等技術専門学校一覧

校名	所在地	電話番号
職業能力開発センター http://www.pref.saitama.lg.jp/A07/BC30/	〒331-0825 さいたま市北区榑引町2-499-11	048-651-3408
中央高等技術専門学校 http://www.pref.saitama.lg.jp/A07/BC11/	〒362-0053 上尾市戸崎975	048-781-3241
川口高等技術専門学校 http://www.pref.saitama.lg.jp/A07/BC01/	〒332-0031 川口市青木4-4-22	048-251-4481
川越高等技術専門学校 http://www.kawagoe.ac.jp/	〒350-0023 川越市並木572-1	049-235-7070
川越高等技術専門学校飯能分校 http://www.pref.saitama.lg.jp/A07/BC04/	〒357-0021 飯能市双柳1-14	042-973-4741
秩父高等技術専門学校 http://www.pref.saitama.lg.jp/A07/BC09/	〒368-0035 秩父市上町3-21-7	0494-22-1948
熊谷高等技術専門学校 http://www.pref.saitama.lg.jp/A07/BC06/	〒360-0842 熊谷市新城新田522	532-6559
春日部高等技術専門学校 http://www.pref.saitama.lg.jp/A07/BC07/	〒344-0036 春日部市下大増新田61-1	048-737-3511

- ▶**応募時期** 各講習実施月の前月1日～10日
- ▶**応募方法** 往復はがきまたはインターネットで
- ▶**受講料** 講習ごとに異なります(教材費別)
- ▶**問い合わせ** 県職業能力開発課 ☎048-830-4598 または県立職業能力開発センターもしくは各県立高等技術専門学校へ

退職金の準備は(財)行田市中小企業退職金共済会で

(財)行田市中小企業退職金共済会は、市内の中小企業に退職金制度を設ける支援を行っています。退職金制度を持つことは、企業にとって優秀な人材を確保し定着を促すとともに、従業員からの信頼を高めることとなります。当共済会に加入すれば、安全かつ確実な退職金を手軽に準備することができます。

《制度の特色》

- 市が全額出資している財団法人により管理運営されていますので、安全かつ確実です。
- 掛け金を納めるだけで、企業の実態にあった退職金を手軽に準備することができます。
- 掛け金は預金口座より自動引き落としが可能で、退職金は退職者に直接支払われるので管理が簡単です。
- 掛け金は税法上全額損金・必要経費として非課税になります。
- 本制度では、加入して満2年以上経過しないと退職金は支給されません。これは、短期勤務者よりも長期勤務者に手厚く報いるものとなっているためです。

《掛金の種類》

従業員一人当たり月額1,000円から15,000円までの17種類です。

▶**問い合わせ** (財)行田市中小企業退職金共済会(商工観光課内・内線384)

行田地区労働学院受講生募集

- ▶**日時** 11月1日・8日・22日の木曜日 午後6時30分～8時30分
- ▶**場所** 商工センター403研修室
- ▶**対象** 勤労者、使用者および一般の方
- ▶**テーマ・講師**
【1日目】「ストレスとメンタルヘルスについて」
菊地章彦さん(有)ヒューマンリエゾン・カウンセリングルーム)
【2日目】「働く人の年金講座」
高伊茂さん(ファイナンシャルプランナー、社会保険労務士)
【3日目】「仕事と家庭の両立支援について」
奥山明良さん(成城大学法学部教授)
- ▶**定員** 各日40人
- ▶**受講料** 無料
- ▶**申し込み・問い合わせ** 商工観光課(内線384)

埼玉県在宅保健活動者の会 会員募集

「埼玉県在宅保健活動者の会」は、市町村の保健事業支援と地域の保健活動に寄与するため、組織的取り組みを図り、併せて会員の資質向上並びに相互の連携を図ることを目的に平成16年1月に設立した組織です。会員数は現在139人で、会員に対する研修や各地域での保健事業の支援活動を実施しています。

本会では、会の趣旨に賛同し、一緒に活動していただける保健師、助産師、看護師の資格をお持ちで、就業されていない方、もしくは在宅で活動されている方を募集しています。

▶入会希望・問い合わせ 埼玉県国民健康保険団体連合会保健事業支援課 ☎048-824-2539 FAX048-824-2765

法テラス無料法律相談

▶場所 ①法テラス埼玉（さいたま市浦和区高砂3-17-15 さいたま商工会議所会館6階） ②法テラス川越（川越市脇田本町10-10 KJビル3階）▶相談日 ①月・水・金曜日の午後1時～4時および火曜日の午前10時～正午 ②水・金曜日の午後1時～4時 ※いずれの場所も予約制 ▶対象 次のいずれかに該当する方 ○生活保護を受けている方 ○年金のみで生活されている方 ○無職で無収入の方 ○収入がある場合には、申込者とその配偶者の手取り月収（賞与含む）の合計が一定額内の方 ▶相談時間 30分 ▶申し込み ①☎050-3383-5375 ②☎050-3383-5377 ▶問い合わせ 法テラス埼玉☎050-3383-5375または生活課（内線252）

一人で悩まず話してみませんか

犯罪や交通事故などの被害による心の悩みをお持ちの方は、一人で悩まずに犯罪被害者相談センターまでお電話ください。専門の相談員が電話により相談を受けるほか、面接での相談も受け付けています。

▶電話相談 犯罪被害ホットライン☎0120-381858または(社)埼玉犯罪被害者援助センター☎048-834-8080 ▶面接相談 個人カウンセリング（予約制・無料）▶問い合わせ 行田警察署警務課☎553-0110



さきたま緑道イベント

▶期日 10月27日（土）午前10時～（雨天決行）▶場所 さきたま緑道川面橋付近（馬と子供の彫刻前仮設テント）▶内容 ①自然の中に彫刻を作ってみよう【時間】午前10時～正午（午前9時45分集合）【参加費】無料（絵の具・クレヨンなどの着彩道具持参）【講師】伊藤茂広さん ②園芸教室「ハンキングバスケット」【時間】午後1時30分～3時30分（午後1時15分集合）【対象】中学生以上【参加費】2,000円（材料費・保険料含む）【定員】20人（先着順）【講師】間室みどりさん ③園芸市場 草花販売（終日）▶申し込み・問い合わせ (株)光風園☎048-641-0416

ひとりぼっちをなくそう in 春日部

▶日時 10月27日（土）午後1時30分～4時▶場所 春日部市商工振興センター「アクシス春日部」▶内容 精神障害者によるピアカウンセリング活動の体験発表および交流会 ▶対象 精神障害者およびご家族、当事者活動に関心のある方 ▶定員 180人▶費用無料 ▶問い合わせ 県立精神保健福祉センター地域支援担当☎048-723-1111

行養まつり

▶日時 10月27日（土）午前9時30分～午後2時30分▶場所 県立行田養護学校（長野4235）▶内容 学習発表、作品展示、模擬店など▶問い合わせ 同校教頭鈴木☎554-3302

TOTO石油給湯機点検のお願い

東陶機器株式会社（TOTO）では、1995年8月から1999年6月までに製造した家庭用石油給湯機（ボイラー）について、部品の一部不具合により、油漏れが発生し発火する可能性があるため、該当する製品の点検（部品の交換）を無料で行っていきます。すでに点検済の製品には「点検済」のシールが貼付されているので、安心して使用できます。

対象製品は次のとおりです。詳しい情報を知りたい方は、TOTOホームページをご覧ください。

▶対象製品形式名 ・RPE32K〇〇 ・RPH32K〇〇 ・RPE40K〇〇 ・RPH40K〇〇 ・RPE41K〇〇 ・RPH41K〇〇

▶問い合わせ 給湯機点検コールセンター☎0120-444-309（月～金曜日の午前9時～午後5時30分）ホームページ <http://www.toto.co.jp/>

北彩タウン情報

～でかけませんかとなりまち～

〈加須市〉

タイトル 第12回加須こいのぼりマラソン大会参加者大募集
日程 12月2日(日) ※雨天決行
場所 加須市民運動公園
 (10kmの部は、加須市役所付近スタート)
種目 【ハーフマラソン(21.0975km)】一般男子・女子
 (18～39歳、40～49歳、50歳以上)
 【10km】一般男子・女子(18～39歳、40～49歳、50歳以上)、男子高校生
 【5km】一般男子・女子(18～39歳、40～49歳、50歳以上)、男子・女子高校生、男子中学生
 【3km】一般男子・女子(15～39歳、40～49歳、50歳以上)、男子・女子中学生
 【2km】小学生男子・女子(3年生以上)
 【1.5km】親子(子どもは小学3年生以下)
参加費 一般2,500円、高校生1,500円、中学生1,000円、小学生500円、親子1,500円 ※スポーツ傷害保険代を含む
表彰参加賞申し込み 各部門10位まで
 こいのぼり絵入りタオル
 北埼玉地区内の各市町教育委員会に用意されている申込用紙に記入し、10月19日(金)までに〒347-0007 加須市下三俣590番地 加須市民体育館内「加須こいのぼりマラソン大会実行委員会」事務局へ(郵送は当日消印有効)
 ※インターネット(<http://runnet.jp/>)でも申し込みができます。
 ※当日の申し込みは不可
問い合わせ 同大会事務局 ☎0480-62-6123・6124

〈羽生市〉

タイトル 羽生市商工まつり
内容 フリーマーケット、市内商工業製品の展示・販売
 スタンプラリーなどたくさんのイベントを予定しています。
日時 11月3日(土)午前11時～午後4時
場所 羽生市民プラザ、プラザ通り歩行者天国内
問い合わせ 羽生市商工会 ☎561-2134

〈騎西町〉

タイトル 騎西町民まつり「銀杏祭」2007
内容 バザー・ステージ発表・農産物直売コーナー・町民鍋・青空びっくり市・ふれあい動物園・ミニSL・よさこいソーランなどが催され、例年1万人以上の人でにぎわいます。当日は町文化祭も開催され、生涯学習センター「キャッスルきさい」で作品展示が行われます。

日時 11月4日(日)午前9時30分～ ※雨天決行
場所 騎西町総合公園
問い合わせ 騎西町民まつり実行委員会 ☎0480-73-1111
 (内線160)

〈北辺川町〉

タイトル ふるさと秋まつり
内容 「文化祭」「産業祭」「健康福祉まつり」の3つのイベントをあわせた「ふるさと秋まつり」を開催します。
○第30回文化祭
日時 【展示の部】11月3日(土)午前10時～午後5時
 11月4日(日) 午前9時～午後3時30分
 【芸能音楽の部】11月10日(土)
場所 北川辺町生涯学習センター「みのり」
問い合わせ 北川辺町教育委員会 ☎0280-62-1710
○第24回産業祭
日時 11月4日(日)午前9時～午後2時
場所 北川辺町役場駐車場
問い合わせ 北川辺町産業振興課 ☎0280-61-1205
○第20回健康福祉まつり
日時 11月4日(日)午前9時30分～正午
場所 保健センター、診療所、介護サービスセンター
問い合わせ 北川辺町保健センター ☎0280-62-3322

〈大利根町〉

タイトル 童謡のふる里まつり
○家族で楽しむ健康まつり
日時 10月27日(土)午前10時～午後3時
場所 大利根町保健センター
○芸術・文化に触れる文化展
日時 11月1日(木)～4日(日)午前9時～午後4時
場所 大利根町総合福祉会館
○美しく咲く菊花展
日時 11月1日(木)～7日(水)午前9時～午後4時
場所 大利根運動公園子ども広場
○ミュージックフェスタ
日時 11月3日(土)午前9時
場所 童謡のふる里アスタホール
○秋の味覚に舌鼓農業まつり
日時 11月11日(日)午前10時～午後3時
場所 農業創生センター
○福祉ふれあい広場
日時 11月25日(日)午前9時30分～午後2時30分
場所 大利根町総合福祉会館
問い合わせ 大利根町企画財政課 ☎0480-72-2114

不用品情報

市では、資源の有効利用とごみの少量化を図るため、不用品になった家具や家電製品など、まだ使えるものの仲介を行う不用品登録制度を実施しています。
 (品物無料)

登録期間は3カ月です。現在登録されている主なものは次のとおりです。

◎さしあげます
 ▼ファンヒーター ▼ナシヨナルカーラー ▼学習机 ▼子供用自転車(女子用) ▼二段ベッド ▼シングルベッド ▼鏡 ▼和だんす ▼たんすの上置

◎ゆずってください
 ▼大人用自転車(24・26・27インチ) ▼ベビーカー(A・B兼用) ▼ダイニング5点セット(いすのみでも可) ▼電子ピアノ ▼電話機(子機付) ▼自転車用子供いす(後用) ▼げた箱 ▼小型冷蔵庫 ▼ベッド用読書スタンド ▼子供用すべり台 ▼ジャンクルジム ▼テレビ(25インチ以下) ▼テープレコーダー ▼再生機 ▼ピアノ ▼メトロノーム ▼ベビーベッド ▼ろくろ ▼MDコンボ

▼問い合わせ

環境課 ☎556-9530
 FAX 553-0792



保 健 案 内



保健センター Tel.553-0053 / Fax.555-2551

健康講座

「知っとく、納得、メタボリック症候群」

ちまたで噂のメタボリック症候群。その意味を知っていますか。「若い時に比べて10kg近く増えている」「検査結果はぎりぎりセーフ、でも毎年少しずつ増えている値がある」と感じている方、“今は忙しいからまた今度”なんて言わずにTVや雑誌では聞けない話、聞きに来ませんか。

対 象 メタボリック症候群について関心のある方
日 時 11月12日(月) 午後1時45分～3時30分
場 所 保健センター
定 員 30人(先着順)
講 師 荒木宏さん(荒木医院院長)
持 ち 物 筆記用具、(持っている方は)健康手帳
申し込み 11月9日(金) までに保健センターへ

保健師・助産師・看護師・歯科衛生士 ・管理栄養士の登録をしませんか

保健センターでは、市民の皆さんの健康づくりのために保健事業を実施しています。事業の充実を図るため、保健師・助産師・看護師・歯科衛生士・管理栄養士の方を募集しています。

対 象 保健師・助産師・看護師・歯科衛生士・管理栄養士のいずれかの資格を有する方
内 容 各種健(検)診業務・相談業務・訪問指導業務など登録された方の中から必要に応じ、面接のうえ、従事する業務を決定します。
 ※賃金・時間などは業務内容によって異なります
申し込み 電話連絡のうえ、履歴書(写真貼付)と免許証の写しを保健センターへ持参してください。

休日急患診療

期 日	場 所	期 日	場 所
10月21日(日)	行田中央総合病院	11月 4日(日)	壮幸会行田総合病院
10月28日(日)	壮幸会行田総合病院	11月11日(日)	行田中央総合病院
11月 3日(土)	壮幸会行田総合病院		

- ・診療科目……内科、小児科、外科
- ・診療時間……午前10時～午後5時

*医療機関が変更されることがありますので、事前に問い合わせください。

- ・行田中央総合病院 ☎553-2000
- ・壮幸会行田総合病院 ☎552-1111

◇夜間などの急病やけがで受診できる医療機関を知りたいとき

- ・行田市消防署 ☎556-3005
- ・埼玉県救急医療センター ☎048-824-4199

高齢者のインフルエンザ予防接種

接種期間 10月20日(土)～12月25日(火)
対 象 次のいずれかに該当し、希望する方(インフルエンザ予防接種は義務接種ではありません)
 ①接種日現在65歳以上の方
 ②接種日現在60歳以上64歳以下の方のうち、心臓、腎臓または呼吸器の機能に重度の障害(1級程度)のある方、およびヒト免疫不全ウィルスにより免疫機能に障害のある方
接種方法 指定医療機関での個別接種(年に1回) 事前に指定医療機関に直接申し込みください。
費 用 1,000円(生活保護受給者は免除)
持参するもの ①予診票(各指定医療機関にあります。市外の医療機関には、本市の予診票がないところもありますので、事前に保健センターにご連絡ください)
 ②保険証または生活保護受給者証
 ※60歳以上64歳以下の方は身体障害者手帳が必要です。
 ※指定医療機関、障害の程度など不明な点は保健センターへ問い合わせください。

慢性心疾患の子どもを持つ保護者の集い

期 日	場 所	内 容
11月10日(土)	本庄保健所 (本庄市前原 1-18-12)	第1部 講演(小児科医師) 「慢性心疾患の治療について」 第2部 集い
12月 8日(土)		第1部 講演(小児科医師) 「心疾患児の日常生活の過ごし方について」 第2部 集い
11月17日(土)	東松山市民 文化センター (東松山市 六軒町 5-2)	第1部 講演(小児科医師) 「慢性心疾患の治療について」 第2部 集い
12月 1日(土)		第1部 講演(小児科医師) 「心疾患児の日常生活の過ごし方について」 第2部 集い

開催時間 午後1時30分～4時(受付は午後1時～)
対 象 慢性心疾患で長期に療養を必要とするお子さんをお持ちの保護者(保育室を用意していません。詳しくは申し込み時にご確認ください)
定 員 各30人(先着順)
費 用 無料
申し込み 電話またはFAXで(社)埼玉県障害難病団体協議会へ。電話受付は月～金曜日(祝日を除く)午前10時～午後4時。FAXの場合は連絡先を記入してください。
問い合わせ (社)埼玉県障害難病団体協議会 ☎048-831-8005 または埼玉県保健医療部健康づくり支援課母子保健担当 ☎048-830-3561

おとなの行事

※場所は保健センター

名称	対象	期 日	受付時間	内容・注意事項
健康相談	健康に関する相談をしたい方	11月14日(水)	午前10時～11時	食事や日常生活についての相談を保健師・栄養士がお受けします。
禁煙相談	たばこをやめたい方			申し込みが必要です。
こころの相談	なんとなく気分がすぐれない、夜眠れない、不安や心配事がある、人間関係に悩みがあるという方	11月15日(木)	—	申し込みが必要です。

子どもの行事

※場所は保健センター

名称	対象	期 日	受付時間	内容・注意事項
乳幼児健診	4カ月児・1歳6カ月児・2歳7カ月児・3歳6カ月児	対象児には通知します。		
BCG 予防接種	平成19年7月1日～15日生まれの子	10月24日(水)	午後1時30分～2時20分	対象児には通知します。対象児でまだ受けていないお子さん(6カ月未満)は、この機会に受けてください。
	平成19年7月16日～31日生まれの子	11月7日(木)		
乳幼児相談	未就学児	11月12日(月)	午後1時30分～4時	保健師、栄養士がお受けします。申し込みが必要です。
		11月20日(火)	午前9時30分～11時30分	
離乳食教室(初期)	平成19年5月15日～6月14日生まれの子	11月1日(木)	午後1時45分～2時	申し込みが必要です。
思春期こころの相談	小・中学生、高校生、またはその家族など	11月29日(木)	午前9時30分～11時30分	心理士、保健師がお受けします。申し込みが必要です。

児童センターと 子育て支援センターを 一時移転します

児童センターの塗装改修工事のため、11月1日から30日までの間は、児童センター(コミュニティセンターみずしろ3階)と子育て支援センター(児童センター内)の利用ができなくなります。工事期間中は次の場所で業務を行いますのでお間違えのないようご利用ください。

児童センター

コミュニティセンターみずしろ2階の一部

子育て支援センター

男女共同参画推進センター「VIVAぎょうだ」内のプレイルームおよび交流スペースの一部

▶問い合わせ 子育て支援課(内線262)
児童センター
☎554-5706
子育て支援センター
☎553-2108

里親を募集しています

子どもが健やかに成長するためには、温かい愛情にあふれた家庭が必要です。しかし、親の病気や死別、離婚、虐待などのさまざまな事情により、家庭で生活できない子供たちが増えています。

里親制度は、こうした子供たちを里親の家族の一員として迎えて、温かい愛情と落ち着いた家庭環境の中で育てていただくものです。県内には約140人の子供たちが児童相談所を通して、里親の家庭で暮らしています。しかし、残念ながら里親に登録していただける方が年々減少しています。そこで児童相談所では里親になっていただける方を広く求めています。

里親になっていただくには県児童福祉審議会での登録審査がありますが、特別な資格はありません。里親として望まれることは、①子どもに理解をもち、養育に対する熱意と豊かな愛情をもっていること、②心身とも健康で、子どもの養育にふさわしい年齢であること、③子どもの養育に支障のない程度に、収入および住居のゆとりがあり、健全で明るい家庭生活が営まれていること、などです。

里親には、養育費や医療費などが公費で支給されます。また、児童相談所や里親会による里親同士の情報交換や研修会を開催するなど、一人ひとりの里親を支援する仕組みも整っています。新たな家庭を求めている子供たちが、血縁はなくても互いに信じ合える温かい家庭で、健やかに成長していけるよう、今、たくさんの里親が求められています。

里親制度の詳細については、県福祉部子ども安全課のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/A03/BG00/satooya.html>

▶問い合わせ 子育て支援課(内線263)
または熊谷児童相談所里親担当☎521-4152

各種相談 (10月15日～11月15日)

相談	場所	日程	時間	問い合わせ
法律(予約制)	市役所	10月23日(火)	午前9時～午後3時	生活課 (内線252)
行政		11月5日(月)	午後1時30分～3時30分	
結婚		11月2日(金)・9日(金)	午前9時30分～11時30分	
消費生活		10月15日(月)・18日(木)・22日(月)・25日(木) ・29日(月)、11月1日(木)・5日(月)・8日(木)・ 12日(月)・15日(木)	午前9時30分～午後3時30分	
夫婦関係・DVなど (予約制)	男女共同参画推進センター	10月19日(金)・26日(金) 11月2日(金)・9日(金)	午後1時～4時	男女共同参画推進センター VIVAぎょうだ ☎556-9301
内職	市役所	10月16日(火)・19日(金)・23日(火)・26日(金) ・30日(火)、11月2日(金)・6日(火)・9日(金)・ 13日(火)	午前10時～午後4時	商工観光課 (内線383)
人権	忍・行田公民館	11月14日(水)	午後1時30分～3時30分	人権推進課(内線221)
税務	中央公民館 (教育文化センター「みらい」内)	10月16日(火)	午後1時30分～3時30分	関東信越税理士会行田支部 ☎554-1411
水道料金の休日納付	水道庁舎(前谷)	11月4日(日)	午前8時30分～正午	水道課 ☎553-0131
水道料金の夜間納付		10月16日(火)・23日(火)・26日(金)・30日(火) 11月6日(火)・13日(火)	午後5時15分～7時	

くらしの110番情報

通信販売とクーリング・オフ

【事例1】(40代女性)

カタログで気に入ったデザインの洋服を見つけた。写真や説明から、品質も良くサイズも合っているうえ、価格も手ごろに思えたので、さっそく電話で注文をした。数日後、商品が送られてきたので開封したところ、色合いや風合いが印象と異なり、安っぽく見え、着る気がしない。8日以内に返品すれば、クーリング・オフできるのか。

【事例2】(50代男性)

インターネットのショッピングモールに出店しているショップのパソコンが安かったので注文した。届いた商品を開封し、自分で一日がかりで初期設定を行ったが、うまく作動せず、サポートセンターも不親切なので返品したい。販売会社はその旨を申し出たら、使用後を理由に返品を断られた。サイトには「使用後の返品・交換は不可」とあるが見ていない。クーリング・オフできないのか。

【お答えします!】

通信販売を利用すると「8日以内なら返品が可能です」という返品特約を見かけます。実は、この特約は業者が自主的に設けたものであり、特定商取引法では通信販売についてクーリング・オフ制度を定めていません。というのもクーリング・オフ制度は、訪問販売など消費者にとって不意打ちになる販売方法による取引について、消費者からの一方的な契約解除を認めたものなのです。通信販売は、消費者が広告を見て検討し自発的に注文するため、訪問販売のような不意打ち性がなく、クーリング・オフ制度の適用がないのです。

とはいえ、通信販売でその商品を購入するかどうかの決め手は、広告やカタログから得る情報だけなので、現物を手にしてみても不満が生じるケ-

又は起こりがちです。このため、(社)日本通信販売協会では、自主規制で10日間の返品期間を設け、返品制度の有無や返品期間を広告に明示するよう指導しています。しかし非会員の業者も多いので、通信販売を利用するときは、契約条件を事前によく確認することが必要です。

さて、事例1はカタログ通販、事例2はネット通販といわれるものですが、いずれもクーリング・オフはできません。事例1はカタログを調べて、業者が自主的に返品制度を設けていれば返品できます。また、返品に関する表示が一切されていない場合で、消費者が返品できると信じていたようなときは返品できます。

事例2は、ホームページに「使用後の返品・交換は不可」と表示があった以上、消費者は返品特約を承知して契約をしたものと見られます。しかし、返品不可となっても商品内容の表示にうそがある場合や、商品に傷があったり不良であったりした場合は、返品できることもあります。また、サポートセンターのアドバイザーが不十分なためうまく初期設定できないのであれば、業者のお客様相談窓口へ苦情を申し出ることで、改善・解決することもあります。あきらめずに、困ったときは県や市町村の消費生活相談窓口にご相談ください。また、通信販売のトラブルは(社)日本通信販売協会が運営する「通販110番」(☎03-5651-1122)でも相談を受け付けています。

▼問い合わせ

埼玉県消費生活支援センター春日部 ☎048-734-0999または生活課(内線252)

図書館 だより

TEL
556-4227
FAX
555-3770

開館時間 午前9時30分～午後7時

新着図書

- 一般書
- ・ 図説イギリスの王室 (石井美樹子)
 - ・ 大人になるための社会科入門 (武洋匡)
 - ・ 安全な食品の選び方がわかる本 (阿部 絢子監修)
 - ・ 水彩字 (出口雄大)
 - ・ 道員屋殺人事件 (愛川崑)

私の推せんする一冊

『レーン(それ)と呼ばれた子』

『**幼年期**』
デイヴ・ペルザー著
新島 加奈さん(持田)

「どうしてお母さんは僕のこと嫌いなのだ。どうしてお母さんは僕のことを愛してくれないのだ。どうしてどうして…」母からの凄まじい虐待を受けた著者自身の体験記。主人公の悲痛な叫びがひしひしと伝わって

- 児童書
- ・ 渾身 (川上健一)
 - ・ 1950年のバックトス (北村薫)
 - ・ やってられない月曜日 (柴田よしき)
 - ・ 挑戦巨大外資 (高杉良)
 - ・ 東京・地震・たんぼぼ (豊島三ホ)
 - ・ いつか陽のあたる場所 (乃南アサ)
 - ・ 湿地帯 (宮尾登美子)

- ・ 火山の大研究 (鎌田浩毅)
- ・ 兵士ピースフル (マイケル・モーバーゴ)
- ・ ラークライト (フリリップ・リーヴ)
- ・ 曲芸師ハリドン (ヤコフ・ヴェゲリウス)
- ・ たびはみちづれ (五味太郎)
- ・ しどうぼうがく (青山友美)
- ・ ピンク色の雲 (稲田善樹)
- ・ イエコさん (ユリア・ヴォリ)

秋の読書週間(10月27日～11月9日)

10月27日は「文字・活字文化の日」ですが、「今は活字離れではなくて、こと

きます。父からも見離されてしまった主人公は、母が自分を人間として扱ってくれる瞬間が永遠に続くことを願いますが、やはり母は他の兄弟と同じように接してくれません。

ひどい暴力を受けながらも、生きること、そして自分に暴力をふるう母に愛されるようにと日々耐え忍びけなげさに胸を打たれました。続編の少年期、青春期も読んでみたいと思います。

ば離れては「読む力」だけでなく、聴く力も落ちていく」などと耳にします。ちょっとだけテレビを消して、家族で読書を楽しんでみませんか。図書館では、さまざまな本を取りそろえていますので、ぜひ親子でご来館ください。

おはなし会

- ▼日時 10月27日(土) 午前11時～正午
- ▼場所 図書館おはなしのへや
- ▼対象 幼児
- ▼内容 絵本や手遊びなど
- ▼主催 おはなしタンバリン

- ▼日時 11月3日(土) 午後2時～3時
- ▼場所 図書館おはなしのへや
- ▼対象 幼児・小学生
- ▼内容 絵本や紙芝居など
- ▼主催 おはなしの会

小さい子のための「おはなしの時間」

- ▼日時 10月17日(水) 午前10時30分～11時
- ▼場所 図書館おはなしのへや
- ▼対象 2、3歳児とその保護者
- ▼内容 おはなし、絵本、パネルシアターなど

子ども映画会

- ▼日時 10月20日(土) 午後2時～
- ▼場所 映像ホール
- ▼題名 ヘンゼルとグレーテル、岩じいさん、雲のかじ屋さん、アルプスの名犬バリー (計46分)
- ▼対象 幼児・小学生およびその保護者

- ▼定員 先着80人
- ▼入場無料

ブックスタート

図書館では、ブックスタートパック(絵本2冊入り)を配布しています。

- ▼日時 10月17日(水)、11月2日(金) 午後1時受付開始(4カ月児健診に合わせて実施)
- ▼場所 保健センター
- ▼対象 4カ月児と保護者
- ▼持ち物 母子健康手帳

移動図書館巡回日程

星宮小	10月17日(水)
泉小	10月18日(木)
太田東小	10月19日(金)
荒木小	10月24日(水)
北河原小	10月25日(木)
南河原小	10月26日(金)
須加小	10月30日(火)
埼玉小	11月2日(金)
桜ヶ丘小	11月7日(水)
北小	11月8日(木)
太田西小	11月9日(金)

※変更する場合があります

休館日

10月15日(月)・22日(月)・29日(月)・31日(水)
11月5日(月)・12日(月)

休館中の図書の返却はブックポストをご利用ください。なお、CDやビデオは、破損防止のため、開館時間内に直接カウンターへお返しください。

写真館

市内各地で長寿のお祝い

敬老月間を迎え市内では各地区で敬老会が開催されています。9月16日には、須加地区で総合福祉会館「やすらぎの里」を会場に長寿を祝う敬老会が盛大に行われました。

式典では工藤市長から金婚夫婦3組と敬老模範家庭1組へ表彰状が手渡されました。お年寄りたちは、久しぶりに会った仲間との会話に花を咲かせていました。



災害に備え協力体制を確認

8月25日、第26回行田市防災訓練が総合公園で開催され、持田・星宮地区住民約1千人が参加しました。

地区住民や自主防災組織、地元消防団が中心となり、初期消火訓練や倒壊家屋からの救出訓練などを連携して行い、協力体制を確認しました。また、応急手当訓練では、今回初めて参加した行田市接骨師会などとともに地区住民らが負傷者への応急手当や担架の製作などを実践。いつ起こるかかわからない災害に備えた有効な訓練となりました。

夢を持ち続けて

再びエベレスト登頂へ

9月1日、ものつくり大学市民特別公開講座が教育文化センター「みらい」で開催され、プロスキーヤーの三浦雄一郎さんによる『人生はいつも「今から」』75歳エベレスト再挑戦』と題した講演が行われました。

講演では、平成15年に当時の世界最高年齢となる70歳7カ月でエベレスト登頂に成功したときの映像が放映された後、そのときの経験談などが語られました。百歳を過ぎてからもスキーに挑戦していた父親や次男豪太さんのオリンピック出場などから刺激を受けて自らの限界に挑戦する日々ことや、来年再びエベレスト登頂に挑戦する意気込みを聞いた観客は、いくつになっても夢を持ち続ける大切さを実感していた様子でした。



中央小学校吹奏楽クラブが

銀賞を受賞

中央小学校の吹奏楽クラブが西関東吹奏楽コンクールで銀賞に輝きました。

このコンクールには、8月に行われた第48回埼玉県吹奏楽コンクールで金賞を受賞しての出場となりました。心をひとつにして演奏し、練習の成果を出きった児童たち。来年は金賞を取って、小学生の部の最高峰となる全日本吹奏楽コンクールへの出場を果たせるよう、皆さんで応援していきましょう。

技と技のぶつかり合い

9月2日、行田グリーンアリーナで行田市市民卓球大会夏季個人戦が開催されました。

この日は、男子・女子シングルの部、男子・女子ダブルスの部、中学男子・女子の部などで争われ、約250人が参加しました。好ゲームが繰り広げられると、会場は次第にヒートアップ。対戦相手をつならせるほどの技や華麗なスマッシュが飛び出すなど、技と技のぶつかり合いとなりました。



心温まる絵手紙がずらり

8月25日～27日の3日間、コミュニケーションセンターみずしろを会場に絵手紙展が開催されました。

行田絵手紙あおい会の約30人の会員による600点余りの作品が所狭くと並べられ、メッセージの詰まった心温まる作品に、訪れた人たちは時間を忘れて見入っていました。

また、絵手紙教室のコーナーでは、来場者が実際に絵手紙作りに挑戦。簡単に作れる方法を会員に教わりながら、オリジナルの絵手紙を作成していました。



マリンバと歌で芸術の秋を堪能

9月9日、太田公民館では「マリンバと歌の競演」が行われ、146人の来場者が芸術の秋を堪能しました。

木琴の一種であるマリンバと歌のセッションという珍しいこのコンサートは、高橋まきさんと真崎佳代子さんによるマリンバ演奏で幕を開け、続いて長森理恵さんがマリンバの音色にのせた美しい歌声を披露。また、マリンバの発祥や音が出る仕組みなどの解説のほか、マリンバの演奏に合わせて来場者が一緒に歌う場面も見られるなど、趣向を凝らした楽しいコンサートとなりました。



種アートの作製した

小物入れに合格印

8月27日～29日の3日間、テクノ・ホテルティ園芸専門学校では、チャイルドスクール2007テクノニアランドの大冒険2が行われました。

子供たちは、初日に植物ゲーム、2日目には草木染めに挑戦し、ゲームで楽しみながら植物の種類や特性などを学びました。そして最終日は、小物入れにいろいろな種類の種で絵を描く種アートを実施。海賊にふんじた学生に作品を見せて「上手にできたね」と合格の印を押してもらおうと、子供たちは満面の笑みを浮かべていました。



さわやかサークル

行田南少年少女カラテ倶楽部

～空手を通した幼児教育を～

	広
場	
<p>このコーナーに登場していただける方・団体・作品を募集しています。 行田市本丸2-5・行田市役所広報広聴課広報広聴担当(内線318)まで。</p>	

同倶楽部の方針は、子供たちを「褒める」こと。努力する姿や上達したことが分かったら褒めてあげること、子供たちはさらに腕を上げようと頑張るそうです。褒めて伸ばす指導方針により、生き生きと、のびのびと稽古に打

楽しく空手をやることを目的とし、毎週火曜日の午後6時30分から1時間、南河原中学校体育館で行われています。生徒は幼児から小学生と幼さは残るものの、白い道着に身を包むとたくましささえ感じます。指導者の佐々木康至館長は、「空手を楽しんでほしい」と、結果として強くなってもらいたい」と、独自のマニュアルを作り、空手を通した教育に力を注いでいます。

行田南少年少女カラテ倶楽部では、空手の技術や体力の向上とともに、幼児教育の要素を取り入れた心希道空手の指導を行っています。稽古は、基本的な型や技の練習を主に、



▼問い合わせ 心希道本部事務局 ☎ 526-6638

ち込んでいる様子が印象的です。また、佐々木館長は「幼いころから空手を学ぶことで、暴力とは何かを知り、暴力を振るうことはなくなる。単に空手が強くなることだけではなく、空手を通して自己を磨き、自分を知ることができると」と、心希道空手の魅力を語ってくれました。昇級して帯の色が変わったり、大会で好成績を収めてトロフィーや賞状などを手にしたりして、とてもうれしそうなお表情をする子供たちを見ると、親としてもうれしく思い、今後の成長が楽しみになると話す代表の中戸力さん。子どもに空手を通した幼児教育をさせてみたいという方、ぜひお子さんと一緒に見学においでください。

私の作品

文芸コーナー

俳句

- 稲の花野を吹く風の息づかひ 丸山 連子
- 日暮れても鳴きやまめ蝉気忙しく 本丸 諸賀 節子
- 富力こそ暑さに負けぬ葉とも 富士見町 おおば水柱
- 誰が魂が触るる風あり盆の道 南河原 三沢 一水
- 原爆忌名なし草にもある命 谷郷 高橋 保子
- 大田圃利根までずんずん稲の花 持田 長田 義子
- 盆の客珍らし話もつて来る 須加 藤本ヤス工
- 朝顔のねじれしつぼみ色づきぬ 須加 矢沢 初枝
- 悠久の利根の流れにあめんぼう 北河原 磯貝美智江
- のったりと流るる時や蝉時雨 清水町 石川 朝美
- 何もかも首をたれてる猛暑かな 向町 佐藤 猶子

初代カルローズマスタが誕生

鈴木 将隆さん (埼玉・36歳)

カリフォルニア産の米を使った創作料理コンテスト『カリフォルニアライスマスターズ』。この第2回大会で、カルローズといわれる品種を使用した創作米料理で頂点を競うカルローズ部門が初めて行われ、『太陽のスフレ』という作品で見事初代カルローズマスターに輝いたのが埼玉地区にお住まいの鈴木将隆さんです。

コック帽に憧れを持ち、小学生のころから料理人になることが夢だった鈴木さんは、高校卒業後、東京・丸の内にあるパレスホテルに就職しました。「厳しい下積み時代を経て、フランスの料理学校や世界的に有名なレストランで勉強する機会をもらいました。自分にはなかった感性や豊かな発想など、これまでの常識を覆すほどの衝撃を何度も受けました」

との言葉どおり、フランスでの貴重な経験は、料理への情熱を一層熱いものにしたそうです。

これまでの実績や実力を見込まれた鈴木さんは、上司の推薦を受けて今年7月に開催された『第2回カリフォルニアライスマスターズ』に応募したそうです。「カリフォルニアの海岸や暖かな陽気をイメージし、食材の配合や一体感に気を配って完成させた作品は、自分の思い描いたものになりました。160人の応募の中から書類選考で予選を通過したときはとてもうれしかったです。公開調理とプレゼンテーションを行う最終選考会



では、多くの人に見られながらの調理に手が震えるほど緊張しました」と話す鈴木さんは、全く知識のないカルローズを使って作り上げた作品で多くの審査員を魅了し、カルローズマスターの栄冠を勝ち取りました。

新たなレシピを考え、人々を幸せな気持ちにさせる料理を作っていきたいと話す鈴木さん。今後、ボランティアで料理教室の講師を務めるなどして、料理の魅力を広げていければと目を輝かせていました。

はじめまして

今月は、平成18年12月生まれの子を募集します。申し込みは広報広聴課広報広聴担当(内線318) 締め切りは10月31日(水)です。抽選会は11月1日(木)の午後1時30分市役所203会議室



岡田 愛良ちゃん(持田)
真之・直澄さんの三女
平成18年10月11日生まれ
「美人三姉妹の末っ子なの♡」



藤間 しずくちゃん(真名板)
佑一・めぐみさんの長女
平成18年10月24日生まれ
「心うらもつしずくスマイル☆」



坂本 心ちゃん(門井町)
司・恵さんの長女
平成18年10月11日生まれ
「親バカ♡でもそんなの関係ねえ!」



大竹 理玖斗ちゃん(行田)
英理・久美子さんの長男
平成18年10月19日生まれ
「理玖斗はみんなの宝物!」



新井 美湊ちゃん(持田)
政道・久美子さんの長女
平成18年10月12日生まれ
「美湊の笑顔は我家の太陽☆」

いきいき 行田人



『力二』(俳画)

江森 洋子(長野)

矢場 梅沢 春江
鈴虫の一声嬉し寝入りばな

矢場 鈴木かづの
炎帝下積み木のごとく家が建つ

(木島 斗川 監修)



**第28回行田商工祭・
忍城時代まつり**

今年も忍城水攻めをテーマに成田軍対豊臣軍の戦いを再現します。また、恒例となっている地元企業による即売会「浮き城のまち・物産大バザール」をはじめ、楽しいイベントが盛りだくさんです。

▼日時 11月11日(日)午前10時～午後4時 ▼場所 市役所、忍城址、バスターミナル周辺 ▼問い合わせ 行田商工会議所会員サービス課 榎原 ☎55614111

埼玉B級ご当地グルメ王決定戦

行田のフライ・ゼリーフライ、東松山のやきとり、深谷の煮ほうとうなど県内のご当地グルメ14品を一堂に集め、グランプリ形式で王者を決定します。

▼日時 11月11日(日)午前10時30

分々午後2時 ▼場所 産業文化会館前 ▼問い合わせ 商工観光課 (内線382)

第33回行田市菊花展

▼展示期間 11月1日(木)～18日(日) ▼場所 郷土博物館 ▼展示菊花 厚物、福助、ダルマ、盆栽、懸崖など ▼主催 行田市、行田市菊花連絡協議会 ▼その他 展示菊花を募集しています。締め切りは10月15日(月)です。▼問い合わせ 商工観光課 (内線382)

ふれあい福祉健康まつり

▼日時 10月20日(土)午前10時～午後3時 ※雨天の場合は10月21日(日) ▼場所 水城公園市民広場およびコミュニティセンターみずしろ ▼内容 アトラクション、キャラクターショー、バザー、健康チェック、身体測定など ▼その他 まつりの手伝いをしていただけるボランティアを募集しています。▼主催 行田市ふれあい福祉健康まつり実行委員会 ▼共催 行田市、行田市社会福祉協議会 ▼問い合わせ 行田市社会福祉協議会 ☎55715400

高齢者陶芸教室

▼日時 10月19日(金)・29日(月)、11月5日(月)・28日(水)・29日(木)・12月3日(月) (全6回) 午後1時～3時 ▼場所 総合福祉会館「やすらぎの里」2階交流創作室 ▼対象 市内在住で60歳以上の方 ▼定員 12人(先着順) ▼参加費 800円 ▼持ち物 使い古した歯ブラシ・タオル・エプロン ▼申し込み・問い合わせ 10月9日(火)午前9時から電話で行田市社会福祉協議会へ ☎55715400

高齢者そば教室

▼日時 ①11月8日・15日・22日 ②平成20年1月17日・24日・31日の木曜日 午前10時30分～午後1時 ▼場所 総合福祉会館「やすらぎの里」2階調理実習室 ▼対象 市内在住で60歳以上の方 ▼定員 各12人(先着順) ▼参加費 1回500円 ▼持ち物 エプロン・三角巾 ▼その他 ①②両方の参加は出来ません。▼申し込み・問い合わせ ①②とも10月22日(月)午前9時から電話で行田市社会福祉協議会へ ☎55715400

健康ヨガ教室

▼日時 11月5日・12日・19日、12月3日・10日・17日の月曜日 (全6回) 午前11時～正午 ▼場所 総合福祉会館「やすらぎの里」第1研修室 ▼対象 市内在住で60歳以上の方 ▼定員 15人(先着順) ▼参加無料 ▼持ち物 タオル ▼申し込み・問い合わせ 10月15日(月)午前9時から電話で行田市社会福祉協議会へ ☎55715400

映画「ごんばんは」上映鑑賞会

▼日時 10月26日(金) 午後6時開場 午後6時30分上映 ▼場所 教育文化センター「みらい」文化ホール ▼内容 東京都墨田区の夜間中学校を舞台にした記録映画 ▼定員 500人 ▼費用 大人800円、中・高校生500円、小学生以下無料 ▼チケット取り扱い 川島書店、忍書房、宮脇書店行田店 ▼主催 映画「ごんばんは」上映実行委員会 ▼後援 行田市、行田市教育委員会 ▼問い合わせ 北埼玉教育会館 ☎55310744

広告

行政書士無料相談会

▼日時 11月14日(水)午後1時～4時
▼場所 生活課相談室
▼相談内容 相続、遺言、示談書、交通事故、農地転用、許認可関係ほか日常生活の困りごと
▼問い合わせ 埼玉県行政書士会埼玉支部(行田地区) 小野田 556-3346

不動産無料相談

▼日時 11月7日(水)午前8時30分～正午
▼場所 生活課相談室
▼相談内容 不動産に関してわからないことやトラブルなど
▼問い合わせ 社団法人埼玉県宅地建物取引業協会北埼玉支部 562-5900

第7回ものづくり大学

学園祭「碧蓮祭」

▼日時 11月3日(土)・4日(日)午前10時～午後5時
▼場所 ものづくり大学
▼内容 フォーミュラカー・ラリーカーなどの展示、ライブ演奏、ものづくり体験、スタンプリリー、模擬店、ビンゴ大会ほか
▼主催 第7回ものづくり大学碧蓮祭実行委員会
▼問い合わせ 同実行委員会 5080-

6726-5741 ホームページ <http://www.iot.ac.jp/campuslife/festival/index.html>

マンガンカーレース 体験教室

▼日時 11月3日(土)・4日(日)午前9時30分～
▼場所 ものづくり大学
▼対象 市内の小学生
▼費用無料
▼その他 工作教室を10月27日(土)・28日(日)に行います。申込書は、各小学校から配付します。
▼問い合わせ 学校教育課 556-8316

折り紙建築教室

▼日時 11月3日(土)・4日(日)午前9時30分～
▼場所 ものづくり大学
▼対象 市内の小学生高学年以上の方
▼費用無料
▼問い合わせ ものづくり大学 564-3819

彩の国

第15回技能まつり

▼日時 11月3日(土)・4日(日)午前10時～午後3時30分
▼場所 ものづくり大学
▼内容 実演・展示・販売・相談コーナー、体験コーナー(一部有料)、スタンプリリー
▼主催 (株)埼玉

県技能士会連合会 ▼後援 行田市、埼玉県ほか
▼問い合わせ 同連合会事務局石丸 048-8333-5923

第6回

読書推進支援講演会

▼日時 11月18日(日)午前9時15分～11時45分
▼場所 教育文化センター「みらい」
▼テーマ 「だれでもできる読み聞かせ」子どもたちは待っている
▼講師 村上淳子さん(常葉学園大学非常勤講師)
▼対象 幼児の育児をされている保護者、保育園・幼稚園の先生、小学校低学年を担当の先生、図書司書、読み聞かせボランティアの方
▼定員 80人
▼受講無料
▼主催 (財)忍郷友会
▼後援 行田市教育委員会、行田市立図書館、保幼小連絡協議会、行田市保育協議会
▼申し込み (財)忍郷友会事務局または宮脇書店行田店 554-6300
▼問い合わせ (財)忍郷友会事務局(本町スリーハートビル3階) 556-9000 (火・金曜日のみ)

第19回大正琴演奏会

▼日時 10月14日(日)午後0時30分開場 午後1時開演
▼場所 産業文化会館ホール

曲目 白雲の城、東京ラプソディー、時の流れに身をまかせ、懐かしの洋画名曲集ほか
▼入場無料
▼主催 行田市大正琴連盟
▼後援 行田市、行田市教育委員会ほか
▼問い合わせ 同連盟大澤宅 556-5085

地域コミュニティを活性化する 花いっぱい園芸教室

▼日時 10月20日(土)・21日(日)の午前・午後(全4回) ※学園祭と同時実施
▼場所 テクノ・ホルティ園芸専門学校(埼玉4758)
▼対象 市内在住の方
▼定員 各回20人
▼内容 園芸植物の栽培や管理に関する講義と実習、秋の草花を使った寄せ植えづくり
▼申し込み・問い合わせ 同専門学校 0120-428739

行田市民吹奏楽団

楽団員

行田市民吹奏楽団創設につき、楽団員を募集します。
▼説明会日時 10月28日(日)午後2時～
▼場所 勤労会館
▼入団資格 中学生以上(未成年者の場合は保護者の同意書が必要)
▼問い合わせ 長島邦明 080-2021-5184

広告

平成19年度

行田市民卓球大会秋季団体戦

- ▼日時 12月2日(日)午前9時～
- ▼場所 行田グリーンアリーナ
- ▼種目 団体戦 ○男子1部・2部(XYZ方式) 1チーム3人 ○女子1部・2部(XYZ方式) 1チーム3人 ※学生は男女各3チームまで ▼参加費 1チーム2千円、学生1千500円 ※連盟未登録者2千500円 ▼対象 市内在住・在勤・在学の方 ▼その他 申し込み後の不参加による参加費返金は不可 ▼申し込み・問い合わせ 11月14日(水)午後7時までに郵送・電話・FAXで〒361-0024 行田市小針2585 田島直也へ ☎555913789 FAX555910714

第35回 市民ハドミントン大会

- ▼日時 11月25日(日)午前8時45分受付 午前9時開会式
- ▼場所 行田グリーンアリーナ
- ▼種目 ダブルス4部門【小学生の部】【中学生の部】学年別【一般男子】【一部(上級)、2部(中級)、3部(初級)】【一般女子】

(財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団

申し込み・問い合わせ



産業文化会館
TEL556-6371
FAX556-6372



商工センター
TEL553-0510
FAX553-2021



古代蓮会館
TEL559-0770
FAX559-0784



グリーンアリーナ
TEL553-3377
FAX553-0487

<http://www.ikiiki-zaidan.or.jp/index.html>



平成19年度 子ども文化祭

市内の児童の絵画・書の内容を一堂に展示します。ぜひご来場ください。

- ▼日時 10月26日(金)～28日(日) 午前9時～午後7時(最終日は午後5時まで) ▼場所 行田グリーンアリーナ(サブアリーナ)



秋の寄せ植え

- ▼日時 11月10日(土)午後1時～4時 ▼場所 古代蓮会館研修工作室 ▼内容 植物が持っている秋の表情を活かし、手軽に楽しめる寄せ植えをつくる。 ※若干変更の可能性あり ▼講師 テクノ・ホルティ園芸専門学校教員 ▼対象 成人 ▼定員 30人 (先着順) ▼参加費 3千円 (保険料・材料代) ▼申し込み 10月20日(土)午後2時から同館窓口にて受け付け



秋のワイン講座

- ▼日時 11月17日(土)午後6時～7時 ▼場所 商工センター403研修室 ▼内容 ヌーヴオーから学ぶワインの知識を試飲しながら習得します。 ▼対象 成人、初めてワインを学ぶ方 ▼参加費 3000円(当日徴収) ▼定員 30人 ▼持ち物 筆記用具 ▼申し込み 10月20日(土)午前9時から商工センター2階窓口にて受け付け(電話受け付けは、午前10時～)



商工センター和裁クラブ 「華・「彩」合同作品展

- ▼日時 10月14日(日)～23日(火) 午前9時～午後9時(最終日は午後6時まで) ▼場所 商工センターホール2階パブ



リラックス・ヨガ教室

- ▼日時 11月1日・8日・15日・22日、12月6日の木曜日(全5回) 午後2時～3時 ▼場所 行田グリーンアリーナ柔道場 ▼内容 心身に目を向け呼吸を行うことで全身の気の流れをよくし、疲れにくく回復しやすい精神と肉体をつくる。 ▼対象 成人 ▼定員 40人(先着順) ▼参加費 1千円 ▼申し込み 10月18日(木)午前9時から行田グリーンアリーナ窓口にて受け付け(一人につき一人分まで)



さんぶん小物教室

- ▼日時 11月10日(土)午後1時30分～3時30分 ▼場所 産業文化会館B1創作室 ▼対象 成人 ▼内容 アクセ

広告

1部(上級)、2部(中級)、3部(初級) ▼**競技方法** リーグトーナメント方式(参加数により変更する場合あり) ▼**参加資格** 市内在住・在勤・在学の方、バドミントン連盟登録者 ▼**参加費** 小・中学生1組500円、一般1千500円 ※当日不参加の場合、参加費の返金不可

▼**その他** シャトル(第2種検定以上の合格球)は各自持ち寄り ▼**主催** 行田市バドミントン連盟 ▼**後援** 行田市教育委員会、行田市体育協会 ▼**申し込み・問い合わせ** 11月11日(日)までに参加費を添えて〒361-0054行田市城南3-24笠原享子 ☎556-0463 (FAX兼用) ※問い合わせは午後1時以降で

**第8回彩の国
木とのふれあいまつり**

▼**日時** 10月28日(日)午前9時～午後3時(雨天決行) ▼**場所** (株)東京木材相互市場(鴻巣市袋1番地) ▼**内容** 木に触れて感じる体験コーナー、住宅相談、パネル展示、木工品販売、チェーンソー丸太切り実演 ほか ▼**主催** (株)埼玉県木材協会 ▼**後援** 行田市、埼玉県ほか

い合わせ (株)東京木材相互市場 ☎548-6111

**2007年行田協立診療所
地区健康まつり**

▼**日時** 10月28日(日)午前10時～午後2時30分 ▼**場所** 行田協立診療所(本丸18-3) ▼**内容** 記念講演、体験コーナー、職員・組合員の取り組み紹介、サークル紹介(フラダンス・銭太鼓など)、健康チェック、健康相談、展示、模擬店など ▼**入場無料**(健康チェックは一部有料) ▼**主催** 2007年行田協立診療所地区健康まつり実行委員会 ▼**後援** 行田市 ▼**問い合わせ** 行田協立診療所山田 ☎556-4581

**(社)行田青年会議所
45周年記念講演**

▼**日時** 10月19日(金)午後5時30分開場 午後6時開演 ▼**場所** 行田平安閣 ▼**テーマ** 「100人の村、あなたもここに生きています」 ▼**講師** 池田香代子さん ▼**入場無料** ▼**主催** (社)行田青年会議所 ▼**問い合わせ** 同会議所事務局 ☎556-4115

古代蓮会館アニメ上映会

日程	作品名	時間
10月21日(日) 午前11時～、午後2時～	まんが世界昔ばなしシリーズ 長ぐつをはいたねこ ほか	46分
10月27日(土) ・28日(日) 午前11時～、午後2時～	まんが世界昔ばなしシリーズ ジャックとまめの木 ほか	31分
11月 3日(土) ・4日(日) 午前11時～、午後2時～	まんが世界昔ばなしシリーズ 金色のがちょう ほか	46分
11月10日(土) ・11日(日) 午前11時～、午後2時～	まんが世界昔ばなしシリーズ おおかみと七ひきの子やぎ ほか	46分
11月14日(水) 午前9時～午後4時	シートン動物記「ギザ耳うさぎ」 「ちび犬チンク」	各23分

▶**上映場所** 古代蓮会館研修工作室
▶**その他** 入館料(大人400円、小人200円)が必要です。



**いきいき財団ふれあいサロン
クリスマスコンサート
topiece
クリスマスライブ2007**

▼**日時** 12月22日(土)午後6時開演 ▼**場所** 商工センターホール ▼**出演** topiece ▼**入場料** 1千円(全席自由、軽食・ドリンク付) ▼**チケット取り扱い** 10月14日(日)午前9時から商工センター2階窓口にて発売



**中村中 LIVE
『愛されたくて生まれた』**

▼**日時** 11月18日(日)午後5時開演 ▼**場所** 産業文化会館ホール ▼**内容** シンガーソングライター 中村中のコンサート ▼**入場料** 全席指定6千300円 ▼**チケット取り扱い** 産業文化会館ほか各プレイガイドにて発売中



広告

阿部家の旗

武家にとって旗は軍団の象徴であり、戦場で敵味方を識別する指標となるなど、欠かせない軍器の一つです。元は流れ旗、長旗といつて、長い布の上部を袋縫いにして横上とよばれる横棒を通し、これにひもを付けて旗竿に結びました。鎌倉時代になると、これに図や家紋を描くようになりまし。室町時代になると布の上部と側面に沿って、乳とよばれる輪を付けて竿を通す幟旗が登場し、流行するようになりまし。軍団のなかで旗の数が増えていくと、旗を護衛する専門の部隊ができました。その指揮官が旗奉行です。戦国時代には各大名や領主が家紋の入った旗をかざして合戦に臨みました。

「公餘付録四」には、阿部家の旗や陣幕をはじめさまざまな軍装が図解入りで著されています。その中で、御紋御旗として白地の布に輪に違い鷹の羽の家紋が3つ染められた、縦約320センチメートルの旗が描かれています。上端は袋縫いで横上を通し、先端には招とよばれる



公餘付録四

家紋が2つ入った小旗を付けています。左には乳を16カ所に付けて、黒筋を巻いた竿を通してあります。藩主の乗った馬の側に立ててその所在を示す馬印（大旗）は、紅白の段々模様のデザインで縦約153センチメートル、横約120センチメートルとなっています。旗の先端には赤い招を付けています。御紋御旗の隣に描かれた小旗は縦約340センチメートル、横約55センチメートルの大きさで、デザインは馬印と同じ赤白段々模様です。この模様は家臣たちが背中に表示する旗指物にも用いられ、阿部家の軍団の象徴ともなっていました。また、これ以外に使番や大目付、勘定奉行などの要職が差す旗差物や、各番頭が部隊ごとに用いる馬印などがあり、紅白段々の旗を基本として、きらびやかな軍団を演出していたようです。

阿部家は忍藩主時代にこの旗を立てて合戦に臨むことはありませんでした。太平の世の中で、戦闘集団としての役割が次第に形骸化していきますが、旗は大名家のシンボルや家臣の精神的なよりどころとして重視されてきました。

（郷土博物館 鈴木紀三雄）

★ キラリ 元気 ★

「柿が赤くなれば医者が青くなる」という言葉があるように、柿にはビタミンCやカロテン、カリウムなどのミネラルが豊富に含まれています。果肉をくりぬいて作った器は季節を身近に感じ、会話も弾むことでしょう。好みで白みそを加えるとコクが増し、また、ゆでたニンジンやコンニャクなどを混ぜると、低エネルギーでボリューム感が出ます。果物や野菜を器に使うと目先が変わり、食卓が楽しくなります。ぜひお試しください。

材料（2人分）

柿…2個 ほうれん草…1/3束（100g） しめじ…少々 木綿豆腐…1/3丁 A【薄口しょうゆ…小さじ1/2 練りごま…小さじ1 砂糖…大さじ1/2 塩…少々】

作り方

- ①柿は洗い、へたの部分がふたになるように横に包丁を入れ、座りがいいように底も横に少し切り取っておく。
- ②スプーンなどで中身をくりぬき、柿釜を作り、取り出した中身は刻んでおく。
- ③ほうれん草・しめじはサッとゆで、食べやすいように切っておく。
- ④ボールに水気を切って裏ごした豆腐・調味料A・②の刻んだ柿と③を加え、あえたものを①の柿釜につめてふたをする。

… 季節を満喫…

柿釜の白和え



栄養成分（1人分）

エネルギー 169kcal たんぱく質 6.0g 脂質 2.7g
食塩相当量 1.1g カロテン 216μg カリウム 485mg

加須保健所管内行田分室地域活動栄養士会

埼玉県名
発祥の地
行田

■発行日／平成19年10月1日
■発行／行田市役所 〒361-8601 行田市本丸2番5号
TEL 556-1111 FAX 550-2116
ホームページ <http://www.city.gyoda.lg.jp>
携帯サイト <http://www.city.gyoda.lg.jp/i/>
■編集／総合政策部広報広聴課

■市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）まで。
■市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
■市報をカセットテープに録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）までご連絡ください。

